独立行政法人 国立高等専門学校機構

仙台高等専門学校

National Institute of Technology, Sendai College

学校概要 2015

平成 27 年度

2015 College Bulletin

次代の高専を目指して

高専は日本の高度成長期に中堅技術者の育成を目的として設置されました。その頃から、世界に冠たる日本のものづくり技術が大きく開花し、世界トップの経済大国に成長していきました。この間、基礎理論と実践力を備えた卒業生は、日本の成長の一端を担い、その貢献に対して社会から高く評価されてきました。

しかし、その後、日本や世界の社会情勢は大きく変化していきました。アジア諸国が日本などの技術を取り入れ、ものづくりでは日本を追い上げ、また日本も生産拠点を海外に移し、日本国内のものづくりは大きく縮小しました。合わせて、日本経済も低迷する時代が長く続き、日本は従来のものづくりだけでは立ち行かなくなってきました。

この前後から、高専は多くの改革を行ってきています。例えば、5年制の上に専攻科を設置し、学士が授与される仕組みを整え、高専の国際的地位を高めるためにJABEEの認証を受けるなど、次々と高度化を推し進めてきました。一方、大学化、名称変更などの努力がなされましたが、抜本的な学校制度の改革は成し遂げることができませんでした。

このように、設置50年を経て、自助努力によって高専は大きく進化しましたが、一方で社会情勢の変化と合わなくなってきている部分も少なくありません。例えば、少子化、高齢化が進み、企業も製造業は20%程度に留まっているのに対して、医療、介護サービス業などの分野が拡大しています。また、ものづくり産業自体は、材料の高度化やシステム部品が進み、産業構造も大きく変化しています。このような社会の変化に対して、高専機構を中心として全国51高専が、今後どうあるべきかの検討に真剣に取り組み、過去にとらわれずに新たな時代に向けて進化していくための仕組み作りに動き始めています。

次の時代にあっても、高専が社会から高い評価を受け続け、貢献し続けることを目指して努力を続けていく所存です。本概要もその過渡期の一つの記録として位置付けられるものになるであろうと思われます。関係諸氏のご支援、ご鞭撻をよろしくお願い致します。

仙台高等専門学校　校長

内田 龍男

INDEX
～目次～

はじめに

02 校長挨拶
04 設立理念・教育目標・カリキュラムポリシー
06 JABEE認定教育プログラム
高専の学校制度
07 全国高等専門学校分布図
08 歴代校長・名誉教授
09 沿革

組織

11 組織・運営体制
13 教職員の現員　役職員
14 運営組織図
15 高度化再編への取組と実績

準学士課程

16 総合科学系
20 生産システムデザイン工学系（名取キャンパス）
●機械システム工学科……20
●電気システム工学科……22
●マテリアル環境工学科……24
●建築デザイン学科……26
28 情報電子システム工学系（広瀬キャンパス）
●知能エレクトロニクス工学科……28
●情報システム工学科……30
●情報ネットワーク工学科……32

専攻科

34 生産システムデザイン工学専攻
38 情報電子システム工学専攻
40 研究推進センター
地域イノベーションセンター
CO-OP教育センター
ICT先端開発センター

校歌

保岡 直樹 作詩　　江村 玲子 作曲

新たな時代を切り開く高専の夢と意気込み、
そして未来へ躍進する姿を明るく、力強く、格調高く表現

1. 仰ぐ秀麗　蔵王の峰よ
　萌ゆる若葉(みどり)に　心も躍る
　自治の旗風(はたかぜ)　あざやかに
　たゆまぬ努力で　叡智を磨く
　友よ究めん　科学の真理
　ああ　仙台高専　夢呼ぶ我ら

2. 名取・広瀬の　ふたつの川も
　ひとつになりて　大海原へ
　友愛(あい)を奏でる　波の音
　溢れる情熱(おもい)は　世界をめぐる
　友よ語らん　我らの使命
　ああ　仙台高専　漲(みなぎ)る力

3. 高き理想と　鍛えし技で
　宮城(ここ)を要に　花咲く文化
　新たな息吹　頬(ほほ)にうけ
　豊かな創造　時代を拓(ひら)く
　友よ学ばん　希望に燃えて
　ああ　仙台高専　輝く未来

校章

心のある技術者、そして、心に訴える
ものづくりができる人材を育ててほしい
という思いを込めて「心」を図案化

■デザイン

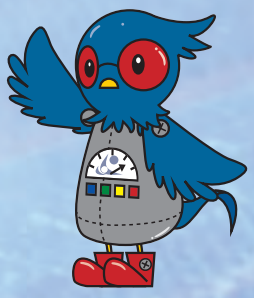
宮城高専・情報デザイン学科 平成21年３月卒業生

齋　明日美

特　色	DIC254
プロセスカラー	C100 / M60 / Y18 / K0
RGBカラー	R0 / G93 / B153

マスコットキャラクター

ロボットの「ロ」、キジの「ジ」、
新学科は七つで、タイ語で七の「ジェット」、
ロジックの「ロジ」から
「ロジェット」と命名



仙台高専マスコットキャラクター
「ロジェット」

施設

42　図書館
43　情報基盤センター
44　創造教育センター
　　創造教育棟
45　実験実習試作室
　　電子デバイス試作室

学生と学生生活

46　定員及び現員
　　奨学生数
47　出身地別在学者数
　　編入学試験実施状況
48　入学志願者数の状況
49　卒業生の進路状況
　　●進路状況……49
　　●就職状況……50
52　学校行事
53　課外活動
54　学寮
55　学生相談室
　　特別支援教育推進室

収入・支出

56　平成26年度収入・支出額
　　土地・建物

教育・研究等活動

57　外部資金受入状況
　　産学官金連携(協定)一覧
58　学術交流

キャンパス

60　名取キャンパスマップ
61　広瀬キャンパスマップ
62　アクセスマップ

設立理念

現在、社会から高専に期待されている「幅広い場で活躍する実践的・創造的技術者の養成へ」に応えるために、2工学系7学科・専攻科2専攻及び3センターから構成される仙台高等専門学校の教育研究上の理念を下記のように設定する。

「高度に複合化した産業界で技術開発の中核を担う実践的・創造的な能力を有し、次世代のものづくり技術者として国際的に通用する、人間性豊かな人材の養成を通じて、科学技術と人間社会の調和的発展に寄与する。」

目　的

仙台高等専門学校は、教育基本法（平成18年法律第120号）及び学校教育法（昭和22年法律第26号）に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。

教育目標

1．主体性と協調性をもつ人間性豊かな人材の養成
2．創造的で高度な実践的技術者の養成
3．国際的視野で社会に貢献できる技術者の養成

カリキュラムポリシー

高等専門学校は、高等学校とは異なり、学習指導要領にとらわれることなく自主的・自律的にカリキュラムの編成が可能な高等教育機関の一つである。本校においては、実践的かつ創造的能力、及び人間力（主体的・能動的に学ぶ力、教養、責任感、コミュニケーション力）を備えた、国際的に通用する次世代のものづくりに携わる若者の育成を目的に、「くさび形教育」、「スパイラル教育」、「アクティブ・ラーニング」を共通基盤としつつ、以下の内容を備えたカリキュラムを編成する。

1）導入教育

新入生が高専教育にスムーズに移行できるように、初年次導入教育の充実を図る。

2）教養教育

①低学年において一般科目を重点的に配置する一方、社会人として求められる多様な教養や、国際的コミュニケーション力を身に付けるために、高学年においても広範なリベラル・アーツ科目を配置して教養教育の充実を図る。

②数学は3学年において大学1、2年レベルを学ぶ。

3）専門教育

①専門科目の内容の連続性・関連性・継続性を考慮した学年配置を行う。

②「ものづくり」で重要となる、実験・実習・演習などの実体験を伴う科目を数多く配置する。

③低学年から高学年まで、創造性や人間力の育成に関連した幅広い科目を配置する。

4）学習成果の振り返り

学習成果の評価においては、学生に自らの知識や理解の到達度を確認させ、その後の学習意欲の向上を図る。

■学科の教育目標

生産システムデザイン工学系

機械システム工学科

機械工学に関する確かな基礎力と、未来社会を担う電気・材料分野を融合した新機械工学分野に対する応用力を備えた、エンジニアリングデザイン能力の高い機械系技術者の養成を目標とする。

電気システム工学科

電気工学の基礎と技術の習得により、多岐に亘る応用分野を互いに関連付けながら総合的に支え発展させるとともに、工学技術者として社会に貢献する人材の養成を目標とする。

マテリアル環境工学科

マテリアル・環境の講義・実験を通して、環境に視点を持ち、多様なマテリアル開発や工業製品への応用の素養をもつ技術者の養成を目標とする。

建築デザイン学科

建築耐震構造の安全性など災害への対応、高齢化社会及び障害者バリアフリーなど社会環境整備への対応、地方中小都市活性化への対応、環境共生・エネルギー問題への対応など、社会の要求が高度化している状況の中で、建築学に基礎を置き、住まいから都市に至る住環境・社会環境のプランニング＆デザインを行うための基礎知識と基礎技術を身に付けた技術者の養成を目標とする。

情報電子システム工学系

知能エレクトロニクス工学科

インテリジェント（知能）化が進むエレクトロニクス機器の動作原理を理解するとともに、それらを開発するために必要とされる各種要素技術について幅広く学修し、ハードウェアを主体としてソフトウェアも十分に活用できる技術者の養成を目標とする。

情報システム工学科

コンピュータシステムの基礎から応用技術までを学修し、世界中に拡がる情報を人々の生活に活用できる能力を有する技術者の養成を目標とする。

情報ネットワーク工学科

社会活動や人々の生活を支える最先端の情報ネットワークの構造と仕組みを、電気通信技術・ネットワーキング技術・ネットワークシステム技術の3つの柱のもとバランスよく学修し、情報ネットワークの設計・構築・運用・応用ができる技術者の養成を目標とする。

■専攻科の教育目標

生産システムデザイン工学専攻

持続可能な社会の実現に資する、分野にとらわれない技術の複合・融合化や、全ての工程を見通した総合的な技術革新に携わることのできる、高度なエンジニアリングデザイン能力を身に付けた、国際的に通用する技術者の養成を目標とする。

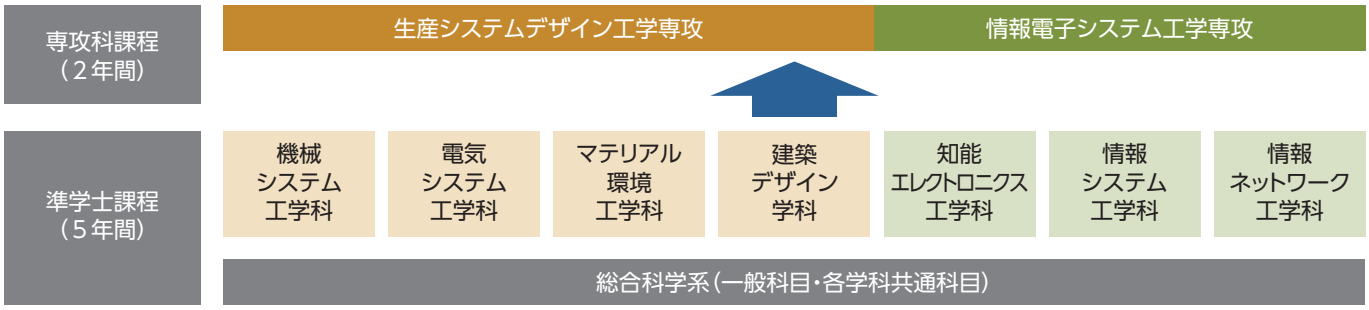
情報電子システム工学専攻

最先端の情報・電子製品を構成している情報システム・電子システム及びその融合技術に精通し、人間・社会・環境等に優しい技術開発に関与できる高度なエンジニアリングデザイン能力を身に付けた、ものづくり日本の伝統を継承できる国際的に通用する技術者の養成を目標とする。

教育体制

学科（準学士課程）	専攻科
・生産システムデザイン工学系 機械システム工学科 電気システム工学科 マテリアル環境工学科 建築デザイン学科	**・生産システムデザイン工学専攻** 生産システム工学コース 建築デザイン学コース 情報デザイン学コース
・情報電子システム工学系 知能エレクトロニクス工学科 情報システム工学科 情報ネットワーク工学科	**・情報電子システム工学専攻** 情報電子システム工学コース

下図は、本校の教育体制における準学士課程（機械システム工学科、電気システム工学科、マテリアル環境工学科、建築デザイン学科、知能エレクトロニクス工学科、情報システム工学科、情報ネットワーク工学科、及び総合科学系）と、専攻科課程（生産システムデザイン工学専攻, 情報電子システム工学専攻）の関係を表しています。



JABEE認定教育プログラム

日本技術者教育認定機構（JABEE）は、学問を教える工学教育から技術者を育てる技術者教育への転換を実現し、日本の技術水準を国際水準に整合させる目的で設立されました。JABEE認定制度は平成13年度から始まり、平成13年度は3大学が認定を受けました。仙台高専専攻科の前身である宮城高専専攻科と仙台電波高専専攻科は、翌14年度に東北の大学及び全国の高専専攻科では最初に認定を受けました。平成19年度及び平成24年度に継続認定となり、仙台高専の教育システム・卒業生の能力は、大学と同等であることが国際的に認められています。

JABEE修了証書授与式

■日本技術者教育認定機構（JABEE）認定の教育プログラム

準学士課程4年次（一部3年次科目を含む）から専攻科2年次までの4年間は、次の2つのプログラムに基づいた教育が行われます。各プログラムは、4年制大学の教育内容が保証されるとともに、国際化に対応したものとして高い評価を得ているものです。従って、この教育プログラムを修了すると、技術者に必要な基礎教育を完了したものとして技術士第1次試験を免除されて直接「修習技術者」となり、一定の条件のもとでの経験年数を経て、技術士の受験資格が得られます。

名取キャンパス

生産システムデザイン工学プログラム

本プログラムは、工学（融合複合・新領域）及びその関連の工学分野で、JABEE認定を受けました。人類と自然が調和した社会の実現に向けて、総合的な技術革新に携わることができる、高度なエンジニアリングデザイン能力を身に付けた国際的に通用するエンジニアを養成します。

広瀬キャンパス

情報電子システム工学プログラム

本プログラムは、電子情報通信・コンピュータ及び関連の工学分野で 、JABEE認定を受けました。新たな高度情報電子技術産業の創出を促進するために、人間・社会・環境に優しい技術開発に携わることができる、高度なエンジニアリングデザイン能力を身に付けた国際的に通用するエンジニアを養成します。

高専の学校制度

右図は、学校制度における、高専の学科（準学士課程）及び高専専攻科（専攻科課程）の位置付けを表しています。

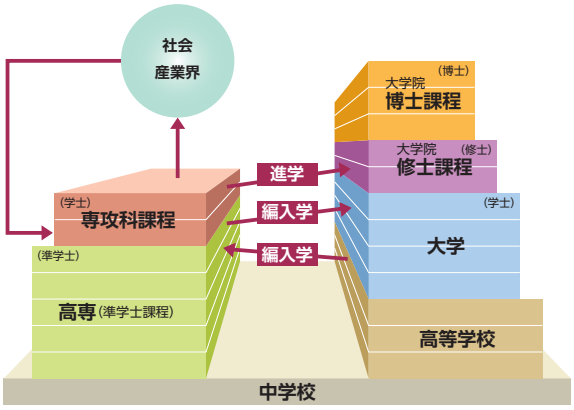
中学校卒業者は、高専（準学士課程）への入学資格があります。

高校卒業者は、高専（準学士課程）への編入学資格があります。

高専（準学士課程）卒業者は、大学への編入学資格があります。

高専（準学士課程）卒業者は、高専専攻科課程への入学資格があります。

専攻科課程を修了し、学位授与機構から「学士」を得た者は、大学院への入学資格があります。



全国高等専門学校分布図

■北海道
- 函館
- 苫小牧
- 釧路
- 旭川

■東北
- 八戸
- 一関
- 仙台
- 秋田
- 鶴岡
- 福島

■関東信越
- 茨城
- 小山
- 群馬
- 木更津
- 東京
- 長岡
- 長野
- 東京都立産業技術
- サレジオ

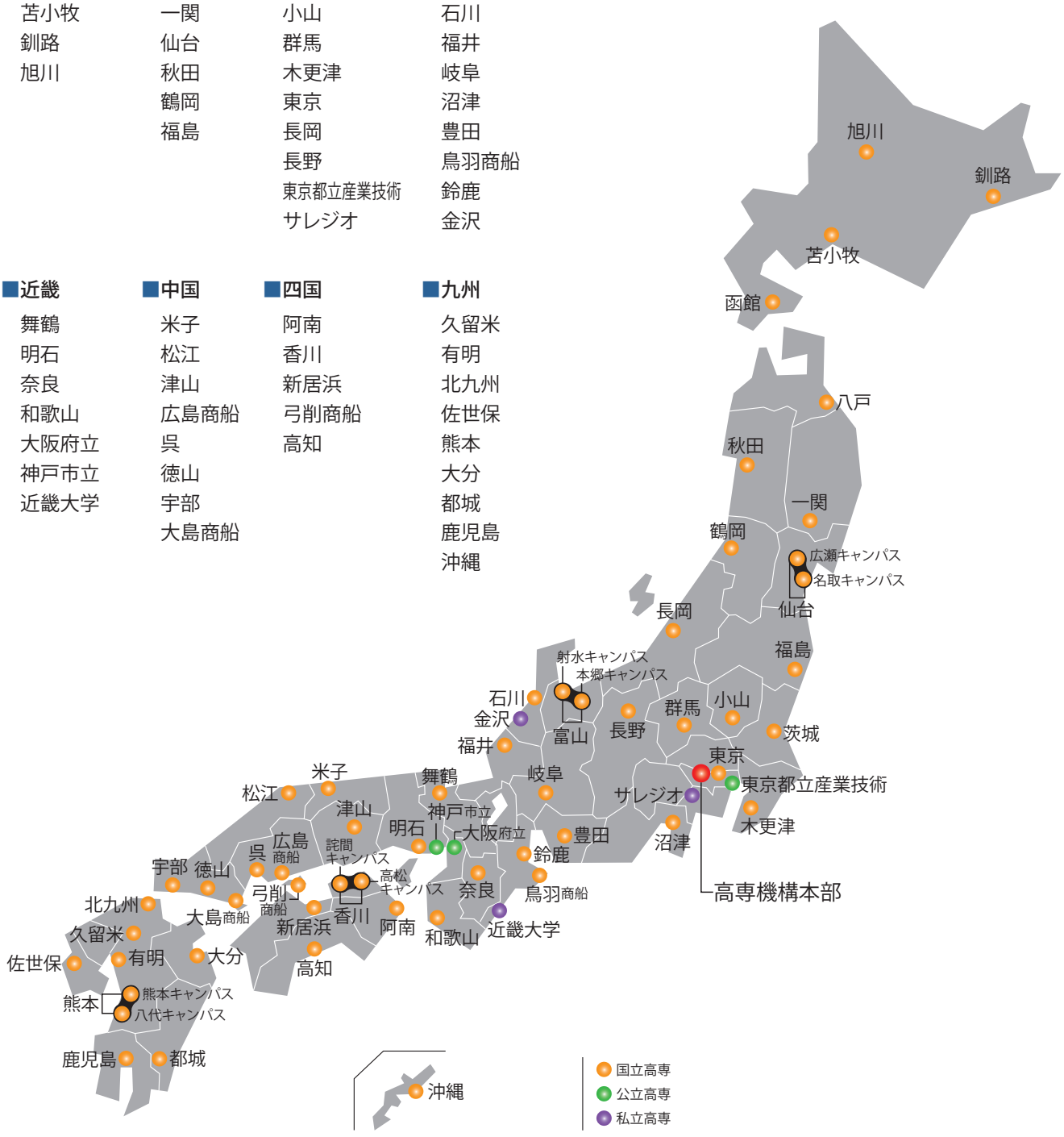
■東海北陸
- 富山
- 石川
- 福井
- 岐阜
- 沼津
- 豊田
- 鳥羽商船
- 鈴鹿
- 金沢

■近畿
- 舞鶴
- 明石
- 奈良
- 和歌山
- 大阪府立
- 神戸市立
- 近畿大学

■中国
- 米子
- 松江
- 津山
- 広島商船
- 呉
- 徳山
- 宇部
- 大島商船

■四国
- 阿南
- 香川
- 新居浜
- 弓削商船
- 高知

■九州
- 久留米
- 有明
- 北九州
- 佐世保
- 熊本
- 大分
- 都城
- 鹿児島
- 沖縄



歴代校長・名誉教授

平成27年４月１日現在

■仙台高等専門学校

歴代校長

代数	歴代校長名	在任期間
初　代	宮　城　光　信	平成21年10月１日～平成22年３月31日
第２代	内　田　龍　男	平成22年４月２日～

名誉教授

氏名	称号授与年月日
宮　城　光　信	平成22年４月１日
花　熊　克　友	平成22年４月１日
千　葉　正　昭	平成23年４月１日
生　田　信　之	平成23年４月１日
高　村　　潔	平成23年４月１日
伊　藤　憲　雄	平成23年４月１日
青　木　恭　介	平成23年４月１日
本　間　敏　行	平成23年４月１日
逢　坂　雄　美	平成23年４月１日
野　田　泰　久	平成23年４月１日
加　藤　　靖	平成23年４月１日

氏名	称号授与年月日
松　谷　　保	平成24年４月１日
柴　田　公　博	平成24年４月１日
名久井　孝　義	平成24年４月１日
小野寺　重　文	平成24年４月１日
石　山　純　一	平成25年４月１日
丹　野　　顯	平成25年４月１日
鯨　井　千佐登	平成26年４月１日
海　野　啓　明	平成26年４月１日
鈴　木　吉　朗	平成27年４月１日
櫻　井　　宏	平成27年４月１日
羽　賀　浩　一	平成27年４月１日

■宮城工業高等専門学校

歴代校長

代数	歴代校長名	在任期間
初　代	黒　川　利　雄	昭和38年４月１日
第２代	鈴　木　廉三九	昭和38年４月２日～昭和51年４月１日
第３代	河　上　房　義	昭和51年４月１日～昭和58年４月１日
第４代	山　口　　格	昭和58年４月１日～平成元年３月31日

代数	歴代校長名	在任期間
第５代	矢　澤　　彬	平成元年４月１日～平成７年３月31日
第６代	斉　藤　正三郎	平成７年４月２日～平成12年３月31日
第７代	四ツ柳　隆　夫	平成12年４月２日～平成19年３月31日
第８代	宮　城　光　信	平成19年４月１日～平成21年９月30日

名誉教授

氏名	称号授与年月日
八　巻　壽　亮	昭和53年４月１日
水　谷　　敏	昭和63年４月１日
小　枝　昌　造	平成４年４月１日
石　井　　浩	平成５年４月１日
伊　藤　繁　巳	平成５年４月１日
斉　藤　克　己	平成６年４月１日
早　坂　高　則	平成６年４月１日
早　坂　　茂	平成７年４月１日
有　川　　晉	平成８年４月１日
鈴　木　昭　逸	平成８年４月１日
桑　原　孝　夫	平成９年４月１日

氏名	称号授与年月日
木　村　　茂	平成９年４月１日
渡　辺　　宏	平成10年４月１日
阿　部　邦　利	平成12年３月16日
千　葉　胤　明	平成12年３月27日
斉　藤　正三郎	平成12年４月１日
岡　田　將　彦	平成12年４月１日
大　泉　智　壽	平成14年４月１日
小　野　堯　之	平成15年４月１日
坂　本　政　祀	平成15年４月１日
山　田　哲　義	平成15年４月１日
百　瀬　　丘	平成17年４月１日

氏名	称号授与年月日
丹　野　浩　一	平成17年４月１日
庄　司　　彰	平成18年４月１日
唐　澤　信　司	平成18年４月１日
四ツ柳　隆　夫	平成19年４月１日
松　浦　　眞	平成19年４月１日
池　田　千　里	平成19年４月１日
佐々木　悊　彦	平成20年４月１日
澁　谷　純　一	平成20年４月１日
田　口　　收	平成20年４月１日
吉　田　光　彦	平成21年４月１日

■仙台電波工業高等専門学校

歴代校長

代数	歴代校長名	在任期間
初　代	角　川　　正	昭和46年４月１日～昭和49年12月21日
第２代	平　原　榮　治	昭和50年４月３日～昭和58年３月31日
第３代	髙　橋　　正	昭和58年４月３日～平成２年３月31日

代数	歴代校長名	在任期間
第４代	山　田　竹　實	平成２年４月１日～平成９年３月31日
第５代	渡　辺　英　夫	平成９年４月１日～平成17年３月31日
第６代	宮　城　光　信	平成17年４月２日～平成21年９月30日

名誉教授

氏名	称号授与年月日
髙　橋　　正	平成２年８月16日
中　川　一　郎	平成３年５月27日
横　田　慎　一	平成８年４月１日
古　谷　恒　雄	平成10年４月１日
長　島　富太郎	平成12年４月１日
宮　城　　篤	平成13年４月１日

氏名	称号授与年月日
中　林　　撰	平成15年４月１日
竹　内　登志男	平成15年４月１日
根　岸　幸　康	平成16年４月１日
三　浦　幹　雄	平成16年４月１日
渡　辺　英　夫	平成17年４月１日
細　川　幸　也	平成17年４月１日

氏名	称号授与年月日
今　野　　眞	平成19年４月１日
浅　見　誠　治	平成19年４月１日
服　部　正　行	平成19年４月１日
福　島　正　忠	平成19年４月１日
鹿　股　昭　雄	平成20年４月１日
熊　谷　正　純	平成21年４月１日

沿革

我が国の産業のめざましい発展と科学技術の著しい高度化に伴い、有為な技術者の養成が社会の各方面から強く要望され、昭和36年の学校教育法の一部改正により、高等教育機関として新たに中学校卒業程度を入学資格とする５年制の高等専門学校制度が発足しました。現在、51国立高専と３公立高専、３私立高専が設置されています。

本校は、宮城工業高等専門学校と仙台電波工業高等専門学校とを高度化再編し、平成21年10月１日に仙台高等専門学校（名取キャンパス・広瀬キャンパス）として設置したものです。

仙台高等専門学校（国立仙台高専）では、大括りの２工学系の中にそれぞれ複合技術分野の学科及び専攻科を設置し、準学士課程の充実と専攻科の拡充、社会人キャリアアップコースの設置による地域人材育成推進を図るとともに、地域連携・地域貢献の中心となるセンターを整備しています。

	宮城工業高等専門学校	仙台電波工業高等専門学校
昭和18年１月22日 ４月１日 11月１日		(財)東北無線電信講習所設置 特科を設置 逓信省所管の官立無線電信講習所仙台支所となる
昭和20年４月１日		官制改正により官立仙台無線電信講習所として独立
昭和24年５月31日		国立仙台電波高等学校となる
昭和38年４月１日	宮城工業高等専門学校設置 機械工学科、電気工学科、建築学科	
昭和43年度	金属工学科を新増設	
昭和46年４月１日		仙台電波工業高等専門学校となる 電波通信学科（２学級）
昭和52年度		電波通信学科１学級を電子工学科に改組
昭和53年度		情報工学科を新設
昭和60年度		電子制御工学科を新設
昭和61年度	金属工学科を材料工学科に改組	
平成元年度		電波通信学科を情報通信工学科に改称
平成３年度	２専門履修コース設置	
平成５年度	情報デザイン学科を増設	専攻科を設置　電子システム工学専攻 情報システム工学専攻
平成10年度	専攻科を設置　生産システム工学専攻 建築・情報デザイン学専攻	
平成15年度	JABEE認定　生産システムデザイン工学プログラム ―工学（融合複合・新領域）分野―	JABEE認定　電子情報システム工学プログラム ―電気・電子・情報通信及びその関連分野― （平成22年３月に名称が「情報電子システム工学プログラム」に変更）
平成16年度	独立行政法人国立高等専門学校機構 宮城工業高等専門学校となる	独立行政法人国立高等専門学校機構 仙台電波工業高等専門学校となる
平成17年度	機関別認証評価認定	機関別認証評価認定

	仙台高等専門学校
平成21年10月１日	宮城工業高等専門学校と仙台電波工業高等専門学校を高度化再編し、仙台高等専門学校を設置 学　科／機械システム工学科、電気システム工学科、マテリアル環境工学科、建築デザイン学科、 知能エレクトロニクス工学科、情報システム工学科、情報ネットワーク工学科 専攻科／生産システムデザイン工学専攻、情報電子システム工学専攻

■宮城工業高等専門学校

学科（入学定員200人）

機械工学科　電気工学科　建築学科　材料工学科
情報デザイン学科

専攻科（入学定員20人）

生産システム工学専攻　建築・情報デザイン学専攻

●地域共同テクノセンター

■仙台電波工業高等専門学校

学科（入学定員160人）

情報通信工学科　電子工学科　電子制御工学科
情報工学科

専攻科（入学定員16人）

電子システム工学専攻　情報システム工学専攻

●地域連携テクノセンター

再　　編／平成21年10月
学生受入開始／平成22年４月

高度化再編

・教育の質の向上
・地域産業界との連携強化
・高専広域連携の核

■仙台高等専門学校

学科（入学定員280人）

機械システム工学科　電気システム工学科　マテリアル環境工学科　建築デザイン学科
知能エレクトロニクス工学科　情報システム工学科　情報ネットワーク工学科

専攻科（入学定員70人）

生産システムデザイン工学専攻　情報電子システム工学専攻

研究推進センター

地域イノベーションセンター　CO-OP教育センター　ICT先端開発センター

■特　徴

２キャンパス・７学科の豊富な学科構成

名取キャンパスの生産システムデザイン工学系４学科と、広瀬キャンパスの情報電子システム工学系３学科とによる豊富な学科構成となっており、工学基礎力と融合複合領域への技術的・学問的素養を兼ね備えた、幅広い場で活躍する実践的・創造的技術者を養成します。

入学定員を大幅に拡張した専攻科

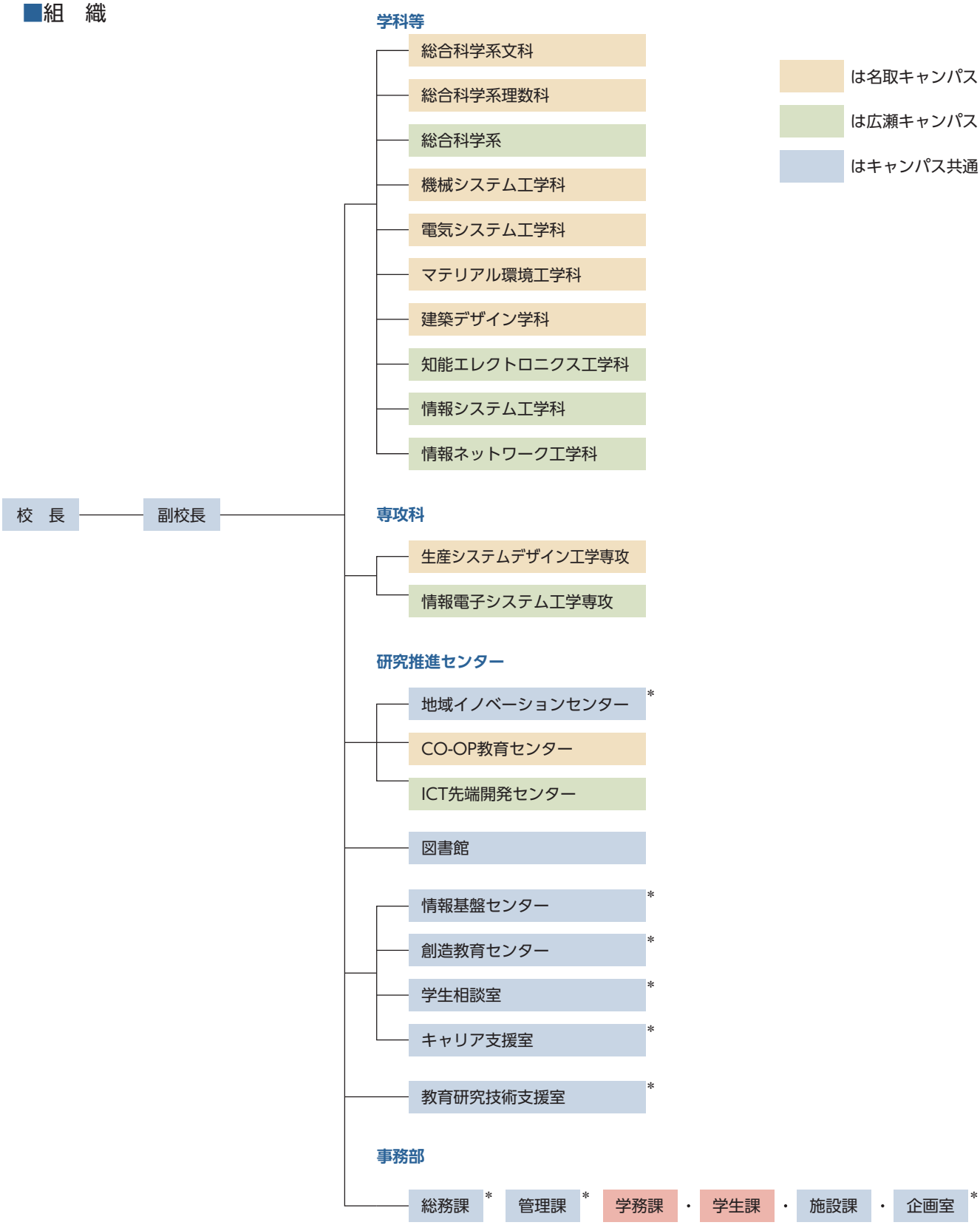
科学技術の進展が急速な社会で、国際的に活躍できる高度な実践的技術者を養成するために、高等専門学校の５年間の準学士課程の上に、入学定員70名の専攻科が設置されています。２年間の専攻科課程を修了後は、大学卒と同等の学士（工学）を取得することができます。

地域と社会に貢献する３つのセンター

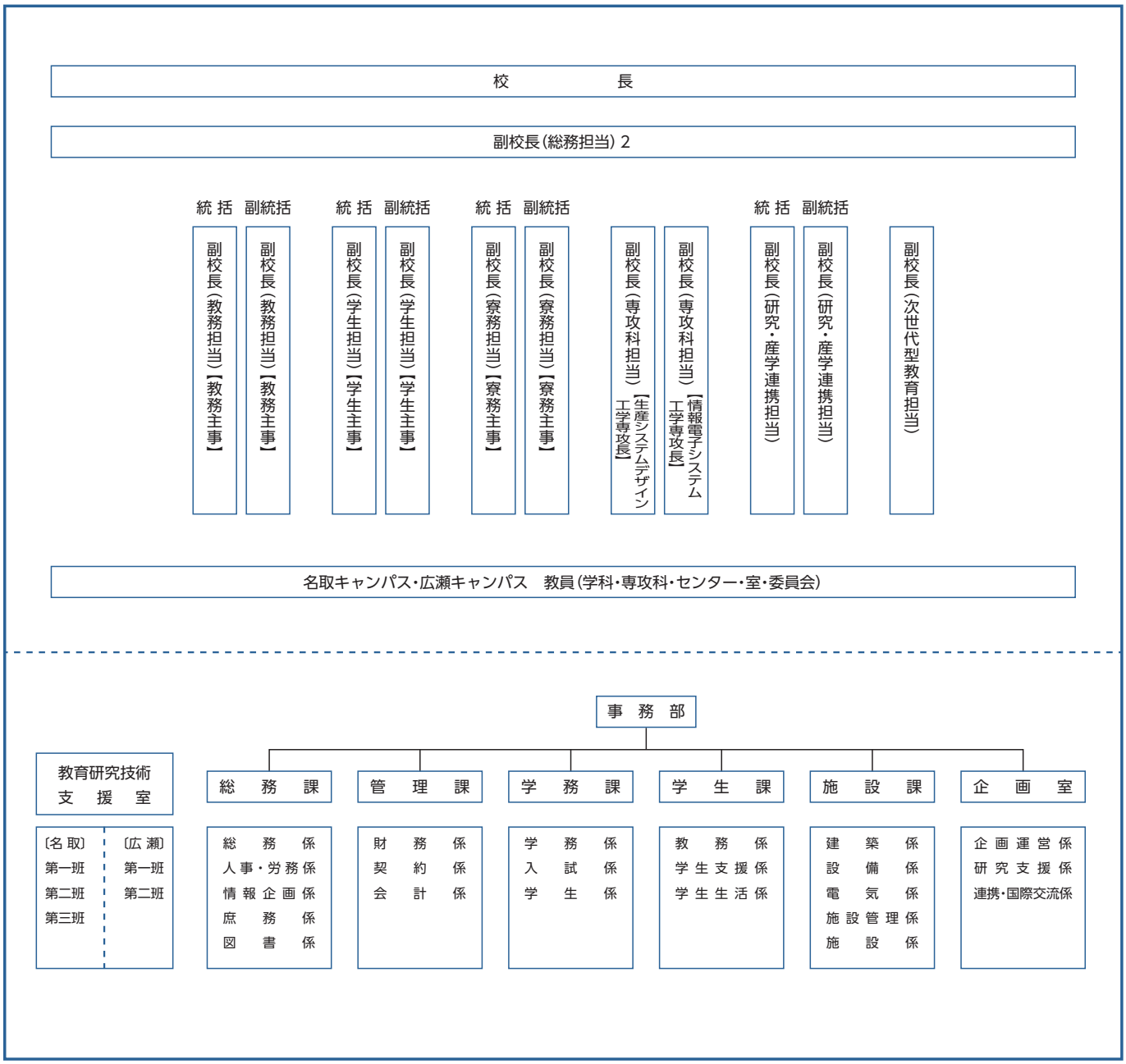
地域社会との連携・地域貢献の核となる３つのセンターを設置し、地域の産業界との共同研究や技術相談、企業人材教育への協力、企業技術者と連携した高専教育の推進、地域の理科教育支援を強化し、地域と社会の発展に貢献します。

組織・運営体制

■組　織


学科等
総合科学系文科
総合科学系理数科
総合科学系
機械システム工学科
電気システム工学科
マテリアル環境工学科
建築デザイン学科
知能エレクトロニクス工学科
情報システム工学科
情報ネットワーク工学科
校　長
副校長
専攻科
生産システムデザイン工学専攻
情報電子システム工学専攻
研究推進センター
地域イノベーションセンター*
CO-OP教育センター
ICT先端開発センター
図書館
情報基盤センター*
創造教育センター*
学生相談室*
キャリア支援室*
教育研究技術支援室*
事務部
総務課*
管理課*
学務課
学生課
施設課
企画室*
は名取キャンパス
は広瀬キャンパス
はキャンパス共通
＊ 各キャンパスに置かれる室及び課

■運営体制


校　　長
副校長(総務担当) 2
統括 副統括
副校長(教務担当)【教務主事】
副校長(教務担当)【教務主事】
統括 副統括
副校長(学生担当)【学生主事】
副校長(学生担当)【学生主事】
統括 副統括
副校長(寮務担当)【寮務主事】
副校長(寮務担当)【寮務主事】
副校長(専攻科担当)【生産システムデザイン工学専攻長】
副校長(専攻科担当)【情報電子システム工学専攻長】
統括 副統括
副校長(研究・産学連携担当)
副校長(研究・産学連携担当)
副校長(次世代型教育担当)
名取キャンパス・広瀬キャンパス　教員(学科・専攻科・センター・室・委員会)
事　務　部
教育研究技術支援室
〔名取〕第一班 第二班 第三班
〔広瀬〕第一班 第二班
総　務　課
総務係 人事・労務係 情報企画係 庶務係 図書係
管　理　課
財務係 契約係 会計係
学　務　課
学務係 入試係 学生係
学　生　課
教務係 学生支援係 学生生活係
施　設　課
建築係 設備係 電気係 施設管理係 施設係
企　画　室
企画運営係 研究支援係 連携・国際交流係

教職員の現員

平成27年7月1日現在

■現員

校長	教授	准教授	講師	助教・助手	小計	職員	合計
1	61	53	0	18	133	89	222

※教授数には特任教授を含む

■教員の年齢構成

年齢区分	教授		准教授		講師		助教・助手		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
21～30							6	2	6	2	8
31～40	1		18	4			7	3	26	7	33
41～50	17	2	23	3					40	5	45
51～60	28	2	5						33	2	35
61～70	11								11		11
計	57	4	46	7	0	0	13	5	116	16	132

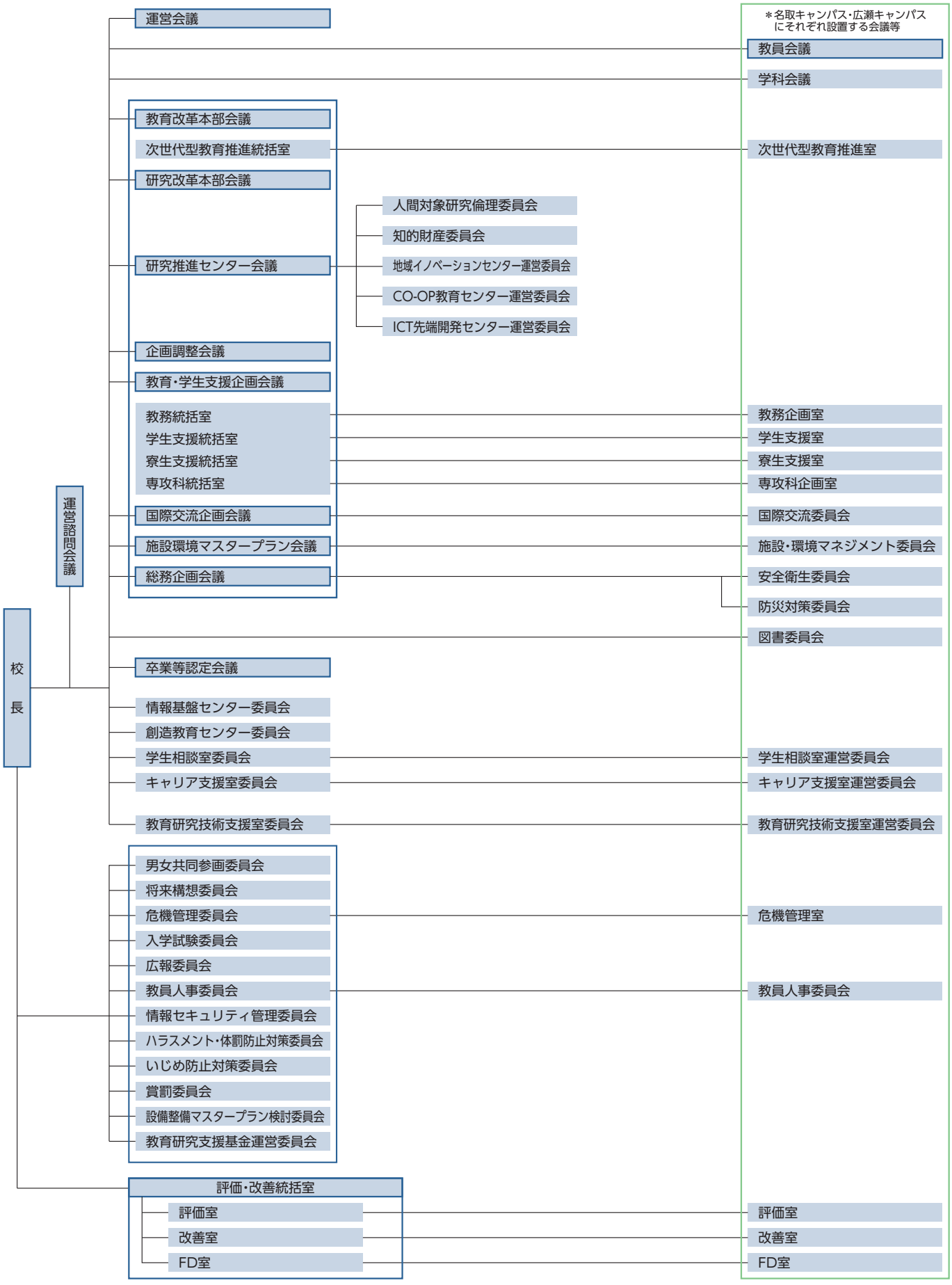
役職員

平成27年7月1日現在

校長　内田龍男			
副校長(総務担当)・教育研究技術支援室長〔名取〕	内海康雄	副校長(総務担当)・専攻科長 教育研究技術支援室長〔広瀬〕	竹茂求
副校長(教務担当)・教務主事〔名取〕	佐藤一志	副校長(教務担当)・教務主事〔広瀬〕	馬場一隆
副校長(学生担当)・学生主事〔名取〕	浅田格	副校長(学生担当)・学生主事〔広瀬〕	久保田佳克
副校長(寮務担当)・寮務主事〔名取〕	武田淳	副校長(寮務担当)・寮務主事〔広瀬〕	矢澤睦
副校長(専攻科担当)・生産システムデザイン工学専攻長	本郷哲	副校長(専攻科担当)・情報電子システム工学専攻長	白根崇
副校長(研究・産学連携担当)〔名取〕・研究推進センター長	遠藤智明	副校長(研究・産学連携担当)〔広瀬〕	林忠之
図書館長〔名取〕	岡崎久美子	副校長(次世代型教育担当)	竹島久志
総合科学系文科長	飯田清志	図書館長〔広瀬〕	佐藤敏行
総合科学系理数科長	今野一弥	総合科学系長	小松京嗣
機械システム工学科長	石川信幸	知能エレクトロニクス工学科長	那須潜思
電気システム工学科長	中村富雄	情報システム工学科長	早川吉弘
マテリアル環境工学科長	熊谷晃一	情報ネットワーク工学科長	矢島邦昭
建築デザイン学科長	坂口大洋	地域イノベーションセンター長	林忠之
CO-OP教育センター長	伊藤昌彦	ICT先端開発センター長	菅谷純一

事務部長　根本直之			
総務課長	山木幸一	管理課長	及川勝治
学務課長	武内由美	学生課長	中山美喜也
施設課長	菅野俊彦	企画室長	水戸辺栄一

運営組織図


校長
運営諮問会議
運営会議
教育改革本部会議
次世代型教育推進統括室
研究改革本部会議
研究推進センター会議
人間対象研究倫理委員会
知的財産委員会
地域イノベーションセンター運営委員会
CO-OP教育センター運営委員会
ICT先端開発センター運営委員会
企画調整会議
教育・学生支援企画会議
教務統括室
学生支援統括室
寮生支援統括室
専攻科統括室
国際交流企画会議
施設環境マスタープラン会議
総務企画会議
卒業等認定会議
情報基盤センター委員会
創造教育センター委員会
学生相談室委員会
キャリア支援室委員会
教育研究技術支援室委員会
男女共同参画委員会
将来構想委員会
危機管理委員会
入学試験委員会
広報委員会
教員人事委員会
情報セキュリティ管理委員会
ハラスメント・体罰防止対策委員会
いじめ防止対策委員会
賞罰委員会
設備整備マスタープラン検討委員会
教育研究支援基金運営委員会
評価・改善統括室
評価室
改善室
FD室
＊名取キャンパス・広瀬キャンパスにそれぞれ設置する会議等
教員会議
学科会議
次世代型教育推進室
教務企画室
学生支援室
寮生支援室
専攻科企画室
国際交流委員会
施設・環境マネジメント委員会
安全衛生委員会
防災対策委員会
図書委員会
学生相談室運営委員会
キャリア支援室運営委員会
教育研究技術支援室運営委員会
危機管理室
教員人事委員会
評価室
改善室
FD室

高度化再編への取組と実績

国立高専の高度化再編では、異なる特徴･強みを有する複数高専の教育研究資源を結集し、特色を持った新しいモデルの新高専を設立しました。（平成21年10月開校、平成22年４月学生受入開始）

- 宮城工業高等専門学校／仙台電波工業高等専門学校　→　仙台高等専門学校
- 富山工業高等専門学校／富山商船高等専門学校　→　富山高等専門学校
- 高松工業高等専門学校／詫間電波工業高等専門学校　→　香川高等専門学校
- 熊本電波工業高等専門学校／八代工業高等専門学校　→　熊本高等専門学校

■社会や産業構造の変化に対応した準学士課程の学科再編と教育の充実

（1）大括りの系の下に複合技術分野の学科を置くなどし、異なる分野の融合や特色の明確化を図りました。
（2）キャンパス・系・学科を異にする教員が協力し合って、複合的な内容の共通基礎教育の提供、豊富な選択科目･実習等の設定、ICTを活用した遠隔教育の実施などによる教育の充実を図りました。
（3）地域社会のニーズに対応した新しい分野（医工学、バイオ、食品、農業など）への展開を積極的に検討しました。

■高度な人材養成ニーズに応える専攻科の拡充

（1）地域産業界ニーズの高度化に対応した専攻科の再編と定員拡充を図りました。
（2）国立高専専攻科の次のような特徴を一層発揮して、高い課題設定･解決能力を有する実践的･創造的技術者を養成しました。

- 技術者としての創造的実践の重視
  - ・現実の技術的課題に基礎を置いた課題設定型学習（PBL）の実施
  - ・異なる学科卒業生の融合による複眼的視野と経営感覚の育成
- 地元企業との密接な連携
  - ・１か月以上の長期インターンシップや企業との連携によるCO-OP教育の実施
  - ・企業等の退職技術者を講師としたものづくり技術の伝承
- JABEE（日本技術者教育認定機構）によるプログラム認定
  - ・準学士課程･専攻科を通じた複合的･融合的な工学教育プログラムとしての認定
  - ・国際的に通用する技術者養成プログラムとして高い評価

■地域社会や広域での連携機能の強化

仙台高専に研究推進センターを置き、３つのセンターを設置し、東北地域の拠点校としての役割を担いながら、以下のような事業を推進しました。

（1）地域の中小企業等との教育及び研究の両面の連携協力を一層強化しました。
（2）地元の技術者等やUターン人材を対象に、企業の技術力強化や技術者のキャリアアップにつながる社会人再教育プログラムを積極的に提供しました。
（3）地域の教育委員会等と連携して、小中学生の理科への関心を高めるためのプログラムを積極的に提供しました。
（4）海外からの留学生の受け入れ、海外の大学、ポリテクニック等との連携による学生･教員の相互交流などの国際交流を積極的に推進しました。
（5）県内にとどまらず、東北の広域的な拠点として、域内の高専間の連携を図り、産業界や大学との広域連携体制を構築しました。

仙台高専高度化再編記者発表

仙台高専開校記念式典・祝賀会

準学士課程

総合科学系

今日のように地球規模の環境破壊が急速に進み、社会の国際化がめざましい勢いで進展する中では、広い視野に立って人類共通の利益に奉仕できる技術者を育てることが重要です。そのために本校は技術者として必要な専門科目の教育はもとより、一般教養科目も重視し、力を入れて教育をしています。総合科学系では人文社会系科目に視聴覚教材を積極的に取り入れたり、理数系科目では実験実習を多く取り入れ、楽しく学びながら基礎的な力を養うことができるように工夫しています。総合科学系では一般科目を主に担当しますが、そのほかにも応用物理、情報処理等の専門科目も担当します。さらに高学年の卒業研究の指導にも力を入れています。

e－ラーニング室

数学の授業風景

■教育課程【一般科目】

機械システム工学科、電気システム工学科、マテリアル環境工学科、建築デザイン学科

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	国語Ⅰ	3	3					
	国語Ⅱ	3		3				
	国語Ⅲ	2			2			
	地理	2	2					
	世界史	2		2				
	倫理	2		2				
	政治経済	2			2			
	英語Ⅰ A	3	3					
	英語Ⅰ B	2	2					
	英語Ⅱ A	3		3				
	英語Ⅱ B	2		2				
	英語Ⅲ A	3			3			
	英語Ⅲ B	2			2			
	保健体育Ⅰ	3	3					
	保健体育Ⅱ	2		2				
	保健体育Ⅲ	2			2			
	基礎数学A	4	4					
	基礎数学B	3	3					
	微分積分Ⅱ	4		4				
	微分積分Ⅲ	3			3			
	代数幾何	3		3				
	物理Ⅰ	2	2					
	物理Ⅱ	3		3				
	化学Ⅰ	2	2					
	化学Ⅱ	2		2				
	科学技術入門	1	1					
	小　計	65	25	26	14	0	0	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	芸術	1	1					
	応用数学	2				2		
	化学概論	1				1		
	外国語Ⅳ A	2				2		
	外国語Ⅳ B	2				2		
	外国語Ⅴ A	2					2	
	外国語Ⅴ B	2					2	
	英語・英米文学A	1				1		
	日本文学A	1				1		
	比較文化論A	1				1		
	科学技術史A	1				1		
	英語・英米文学B	1				1		
	日本文学B	1				1		
	比較文化論B	1				1		
	科学技術史B	1				1		
	健康とスポーツ	1				1		
	健康学A	1					1	
	哲学A	1					1	
	日本史学A	1					1	
	社会経済学A	1					1	
	健康学B	1					1	
	哲学B	1					1	
	日本史学B	1					1	
	社会経済学B	1					1	
	生物学	2					2	
	地球科学	2					2	
	長期インターンシップA	4					4	
	総合科目A	1以上			1以上	1以上	1以上	
	特別学修A	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	小　計	39以上	2以上	1以上	2以上	18以上	22以上	
開設単位数計		104以上	27以上	27以上	16以上	18以上	22以上	75単位以上修得すること。
特別活動		90時間	30時間	30時間	30時間	―	―	

■教員【文科】

職名・学位／氏名	担当科目
教授　文学修士 飯田清志 (IIDA Kiyoshi)	英語Ⅱ A、英語Ⅲ A
教授　修士（スポーツ科学） 柴田尚都 (SHIBATA Naoto)	保健体育Ⅰ～Ⅲ、健康とスポーツ
教授 武田淳 (TAKEDA Jun)	英語Ⅲ B、英語Ⅰ・Ⅱ
教授　修士（文学） 千葉幸一郎 (CHIBA Koichiro)	国語Ⅱ、日本語表現、国語表現、日本文学B、 協学実習
教授 平間哲雄 (HIRAMA Tetsuo)	保健体育Ⅰ～Ⅲ、健康学Ａ・Ｂ
特任教授　文学修士 菅野洋行 (KANNO Hiroyuki)	英語Ⅱ B、外国語Ⅳ A、英語・英米文学Ａ・Ｂ、 英語Ⅰ・Ⅱ
特任教授　教育学修士 佐藤安功 (SATO Yasutaka)	倫理、外国語Ⅳ B、比較文化論A、哲学Ａ・Ｂ、 外国語Ⅴ B
准教授　文学修士 佐藤和彦 (SATO Kazuhiko)	英語Ⅰ A、外国語Ⅴ A
准教授　博士（文学） 徳竹亜紀子 (TOKUTAKE Akiko)	地理、科学技術史Ａ・Ｂ、日本史学Ａ・Ｂ、 歴史と文化
助教　修士（文学） 油座圭祐 (YUZA Keisuke)	国語Ⅰ、日本文学A、比較文化論B

【理数科】

職名・学位／氏名	担当科目
教授　博士（工学） 今野一弥 (KONNO Kazuya)	物理Ⅱ、応用物理Ａ・Ｂ・Ⅰ B・Ⅱ A、 電気工学実験Ⅳ、総合セミナー（マテリアル環境）、 協学実習、卒業研究、応用物理学
教授　理学博士 鈴木勝彦 (SUZUKI katsuhiko)	物理Ⅰ・Ⅱ、創造実習、総合セミナー（機械・電気）、 卒業研究、専攻研究、固体物性工学、 電子機能デバイス、専攻実験
教授　理学修士 徳能康 (TOKUNO Yasushi)	基礎数学A、微分積分Ⅱ、線形代数学
准教授　博士（理学） 井海寿俊 (IKAI Hisatoshi)	基礎数学Ａ・Ｂ
准教授　博士（理学） 小野慎司 (ONO shinji)	基礎数学B、物理Ⅰ・Ⅱ、応用物理B、データ解析学
准教授　博士（工学） 佐藤徹雄 (SATO Tetsuo)	化学Ⅰ・Ⅱ、創造実習、化学概論、生物化学
准教授　博士（理学） 谷垣美保 (TANIGAKI Miho)	代数幾何、微分積分Ⅲ、確率統計概論
助教　博士（理学） 中山まどか (NAKAYAMA Madoka)	基礎数学A、微分積分Ⅱ、総合セミナー(マテリアル 環境)、卒業研究
助教　博士（工学） 山野内敬 (YAMANOUCHI Takashi)	代数幾何、微分積分Ⅲ、シミュレーション工学、 プラズマ応用工学

準学士課程

総合科学系

■教育課程【一般科目】

知能エレクトロニクス工学科、情報システム工学科、情報ネットワーク工学科

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	国語Ⅰ	3	3					
	国語Ⅱ	2		2				
	国語Ⅲ	2			2			
	国語表現	1			1			
	地理	2	2					
	世界史	2		2				
	倫理	2		2				
	政治経済	2			2			
	英語Ⅰ A	3	3					
	英語Ⅰ B	2	2					
	英語Ⅱ A	3		3				
	英語Ⅱ B	2		2				
	英語Ⅲ A	3			3			
	英語Ⅲ B	2			2			
	保健体育Ⅰ	3	3					
	保健体育Ⅱ	2		2				
	保健体育Ⅲ	2			2			
	基礎数学A	4	4					
	基礎数学B	3	3					
	微分積分Ⅱ	4		4				
	微分積分Ⅲ	3			3			
	代数幾何	3		3				
	物理Ⅰ	2	2					
	物理Ⅱ	3		3				
	化学Ⅰ	2	2					
	化学Ⅱ	2		2				
	小　計	64	24	25	15	0	0	

数学の授業風景

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	芸術	1	1					
	日本言語文化論	1				1		
	人文科学特論	1				1		
	社会科学特論	1					1	
	人間科学特論	1					1	
	化学特論	2				2		
	生物学	2					2	
	地学	2					2	
	スポーツ	1				1		
	技術者倫理	2					2	
	総合英語Ⅰ	2				2		
	総合英語Ⅱ	1				1		
	実用英語Ⅰ	1					1	
	実用英語Ⅱ	1					1	
	長期インターンシップA	4					4	
	総合科目A	1以上			1以上	1以上	1以上	
	特別学修A	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	小　計	25以上	2以上	1以上	2以上	10以上	16以上	
開設単位数計		89以上	26以上	26以上	17以上	10以上	16以上	75単位以上修得すること。
特別活動		90時間	30時間	30時間	30時間	―	―	

■教員

職名・学位／氏名	担当科目
教授　博士（理学） 小　松　京　嗣 (KOMATSU Kyoji)	化学Ⅰ・Ⅱ、創造工学、情報ネットワーク実験Ⅱ、物理化学、専攻研究
教授　文学修士 伊　勢　英　明 (ISE Hideaki)	国語Ⅰ、国語表現、日本言語文化論
教授　修士（教育学） 久保田　佳　克 (KUBOTA Yoshikatsu)	英語ⅡA、政治経済
教授　修士（工学） 佐　藤　敏　行 (SATO Toshiyuki)	微分積分Ⅱ、数学（留学生）
教授　文学修士 竹　内　素　子 (TAKEUCHI Motoko)	英語ⅠA、英語ⅢA
教授　修士（文学） 武　田　　拓 (TAKEDA Taku)	（外国出張中）
教授　教育学修士 福　地　和　則 (FUKUCHI Kazunori)	英語ⅠB、英語ⅡB
教授　修士（児童学） 矢　澤　　睦 (YAZAWA Atsushi)	地理、英語ⅢB

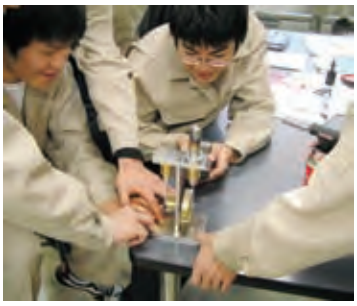
職名・学位／氏名	担当科目
准教授　博士（文学） 笠　松　　直 (KASAMATSU Sunao)	倫理、人文科学特論、人間科学特論、思想史、技術者倫理
准教授　博士（理学） 兼　下　英　司 (KANESHITA Eiji)	物理Ⅱ、基礎数学B、数学（留学生）
准教授　修士（障害科学） 兼　村　裕　介 (KANEMURA Yusuke)	保健体育Ⅱ・Ⅲ、スポーツ
准教授　博士（理学） 下　田　泰　史 (SHIMODA Taishi)	線形代数学、微分積分Ⅲ、応用数学B・C
准教授　博士（工学） 穂　坂　紀　子 (HOSAKA Noriko)	物理Ⅱ、物質の構造と性質
助教　修士（理学） 佐　藤　健太郎 (SATO Kentaro)	基礎数学A、数学（編入生）
助教　修士（体育学） 東　畑　陽　介 (TOHATA Yosuke)	保健体育Ⅰ、スポーツ
助教　修士（国際文化） 朴　　槿　英 (PAK Keunyoung)	英語ⅢA、実用英語Ⅰ・Ⅱ
助教　修士（工学） 丸　山　洋　平 (MARUYAMA Yohei)	微分積分Ⅲ、代数幾何、数学（編入生）

生産システムデザイン工学系

名取キャンパス

機械システム工学科

ものづくりに必要な「考える力」と「実現する力」を身に付けます。ものづくり技術では、生産性や経済性だけではなく、安全性や機能性についての配慮など、複合的観点からの改善や向上が必要とされています。機械システム工学科では、新時代のものをつくる技術者、すなわち、融合技術に対応できる技術的・学問的素養を持ち、科学技術が社会環境に及ぼす影響や技術者の責任を念頭において製品開発ができる人間性豊かな技術者の育成を目指しています。



スターリングエンジンの製作

流体力学実験

■教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	機械工作法Ⅰ	1	1					
	機械工作法Ⅱ	1		1				
	機械工作法Ⅲ	1			1			
	設計製図Ⅰ	2	2					
	設計製図Ⅱ	2		2				
	設計製図ⅢA	2			2			
	設計製図ⅢB	2			2			
	設計製図ⅣA	2				2		
	設計製図ⅣB	2				2		
	設計製図Ⅴ	2					2	
	工作実習Ⅰ	2	2					
	工作実習Ⅱ	2		2				
	工作実習Ⅲ	3			3			
	創造実習	1		1				
	基礎電気	1		1				
	情報処理	2			2			
	材料力学ⅠA	1			1			
	材料力学ⅠB	1			1			
	材料力学ⅡA	1				1		
	材料力学ⅡB	1				1		
	応用物理A	1			1			
	応用物理B	1			1			
	機械力学	1				1		
	流体力学A	1				1		
	流体力学B	1				1		
	熱力学A	1				1		
	熱力学B	1				1		
	工学実験ⅠA	1.5				1.5		
	工学実験ⅠB	1.5				1.5		
	工学実験ⅡA	1.5					1.5	
	工学実験ⅡB	1.5					1.5	
	工業倫理	1				1		
	総合セミナー	2				2		
	卒業研究	12					12	
	小　計	60	5	7	14	17	17	

1　一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。
2　一般科目の総合科目Ａ及び特別学修Ａ並びに専門科目の総合科目Ｂ及び特別学修Ｂは、併せて上限８単位とする。

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	工業力学	1			1			
	機構学	1			1			
	基礎材料科学	1			1			
	計測基礎	1			1			
	電気工学概論	1			1			
	材料・加工学	1				1		
	計測工学	1				1		
	自動制御	2				2		
	電子工学	2				2		
	電気機器	1				1		
	解析学A	1				1		
	解析学B	1				1		
	応用物理C	1				1		
	テクニカルライティング	1				1		
	エンジニアリングデザイン概論	1				1		
	インターンシップ	1〜2				1〜2		
	材料強度学	1					1	
	流体工学	1					1	
	エネルギー変換工学	1					1	
	化学工学概論	1					1	
	有機・無機材料	1					1	
	生産工学	1					1	
	システム工学概論	1					1	
	メカトロニクス	1					1	
	ロボット工学	1					1	
	生体機械工学	1					1	
	知能機械工学	1					1	
	環境工学	1					1	
	経営工学	1					1	
	知的財産概論	1					1	
	長期インターンシップB	5					5	
	協学実習	1				1	1	
	総合科目B	1以上			1以上	1以上	1以上	
	特別学修B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	小　計	40以上	1以上	1以上	7以上	16以上	22以上	
開設単位数計		100以上	6以上	8以上	21以上	33以上	39以上	

■教員

職名・学位／氏名	担当科目
教授　博士（工学） 石　川　信　幸 (ISHIKAWA Nobuyuki)	熱力学A・B、エネルギー変換工学、機械工学概論、工作実習II、設計製図I、総合セミナー、工学実験IA・IB、IIB、卒業研究、伝熱論、専攻研究
教授　博士（工学） 伊　藤　昌　彦 (ITO Masahiko)	自動制御、メカトロニクス、システム工学概論、知能機械工学、総合セミナー、工学実験IIA・IIB、卒業研究、専攻研究、システム制御工学、創造工学演習
教授　博士（工学） 佐　藤　一　志 (SATO Kazushi)	設計製図IIIB、材料力学IA・IB、材料力学IIA・IIB、総合セミナー、工学実験IA、IIA、卒業研究、専攻研究、固体の力学
准教授　博士（情報科学） 北　島　宏　之 (KITAJIMA Hiroyuki)	情報処理、科学技術入門、総合セミナー、エンジニアリングデザイン概論、工学実験IIB、卒業研究、情報工学特論、専攻実験、専攻研究
准教授　博士（工学） 高　橋　　学 (TAKAHASHI Manabu)	機械工作法I・II・III、工作実習I・II・III、設計製図II、工学実験IA・IB、IIB、総合セミナー、卒業研究、専攻研究

職名・学位／氏名	担当科目
准教授　博士（理学） 永　弘　進一郎 (NAGAHIRO Shinichiro)	設計製図IVB、流体力学A・B、総合セミナー、流体工学、工学実験IA・IB、IIB、卒業研究、流れ学、専攻研究、専攻実験
准教授　博士（工学） 野　呂　秀　太 (NORO Shuta)	創造実習、工業力学、工作実習III、エンジニアリングデザイン概論、設計製図V、総合セミナー、工学実験IA、専攻実験、専攻研究
准教授　博士（工学） 濱　西　伸　治 (HAMANISHI Shinji)	設計製図IIIA、機械力学、テクニカルライティング、生体機械工学、総合セミナー、工学実験IIA・IIB、卒業研究、生体工学、創造工学演習、専攻実験、専攻研究
助教　博士（工学） 奥　山　真　彦 (OKUYAMA Masahiko)	科学技術入門、工作実習I、創造実習、材料力学IA・IB、情報処理、工学実験IB、IIA・IIB、総合セミナー、卒業研究

生産システムデザイン工学系

名取キャンパス

電気システム工学科

未来に向けて人々の生活を生き生きとしたものにするためには、互いのコミュニケーションを円滑にする技術やエネルギーを安定的に供給する技術、さらには福祉に係わる技術など、生活の質の向上につながる電気の様々な技術の発展が必要です。電気システム工学科では、講義と演習と実験を有機的に結びつけて構成した教育プログラムのもと、基礎から応用への幅広い知識と技術を確実に身に付けた、真に総合的に人々の生活を豊かにする技術者の育成を目指しています。

電気工学実験Ⅲ（電子回路実験）

電気工学実験Ⅴ（移動体通信）

■教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	電気工学基礎	2	2					
	電気工学基礎実験	1	1					
	創造実習	1		1				
	電気工学実験Ⅰ	1	1					
	電気工学実験Ⅱ	2		2				
	電気工学実験Ⅲ	3			3			
	電気工学実験Ⅳ	4				4		
	電気工学実験Ⅴ	4					4	
	電気回路Ⅰ	2		2				
	電気回路Ⅱ	2			2			
	電気回路Ⅲ	1				1		
	電気回路Ⅳ	1				1		
	電磁気学Ⅰ	2			2			
	電磁気学Ⅱ	1				1		
	電磁気学Ⅲ	1				1		
	情報処理基礎	1	1					
	プログラミングⅠ	2		2				
	プログラミングⅡ	1			1			
	電気機器Ⅰ	1			1			
	電気計測Ⅰ	1			1			
	電気工学演習Ⅰ	1			1			
	電気工学演習Ⅱ	1				1		
	製図	2			2			
	解析学Ⅰ	1				1		
	解析学Ⅱ	1				1		
	応用物理Ⅰ	1			1			
	工業倫理	1				1		
	総合セミナー	2				2		
	卒業研究	12					12	
	小　計	56	5	7	14	14	16	

1　一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。
2　一般科目の総合科目Ａ及び特別学修Ａ並びに専門科目の総合科目Ｂ及び特別学修Ｂは、併せて上限８単位とする。

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	数値計算法	1			1			
	電子回路	2			2			
	ディジタル回路	2			2			
	ものづくり実習	1			1			
	電気機器II	1				1		
	電気計測II	1				1		
	計算機工学	1				1		
	応用情報工学	1				1		
	通信工学I	1				1		
	通信工学II	1					1	
	通信工学III	1					1	
	電子物性	1				1		
	インターンシップ	1〜2				1〜2		
	応用物理II	1				1		
	応用物理III	1				1		
	エンジニアリングデザイン概論	1				1		
	テクニカルライティング	1				1		
	電気電子材料	2				2		
	電力工学	2				2		
	制御工学I	1				1		
	制御工学II	1					1	
	電気機器III	1					1	
	システム工学基礎	1					1	
	メカトロニクス	1					1	
	機械工学概論	2					2	
	ディジタル信号処理	1					1	
	電気法規施設管理	1					1	
	半導体工学	2					2	
	特別講義	1					1	
	環境工学	1					1	
	経営工学	1					1	
	知的財産概論	1					1	
	長期インターンシップB	5					5	
	協学実習	1				1	1	
	総合科目B	1以上			1以上	1以上	1以上	
	特別学修B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	小　計	46以上	1以上	1以上	8以上	19以上	24以上	
開設単位数計		102以上	6以上	8以上	22以上	33以上	40以上	

■教員

職名・学位／氏名	担当科目
教授　工学博士 中　村　富　雄 (NAKAMURA Tomio)	応用数学、制御工学I、工業倫理、電気回路IV、制御工学II、電気工学実験II・V、総合セミナー、卒業研究、システム制御工学、専攻実験、専攻研究II
教授　工学博士 櫻　庭　　弘 (SAKURABA Hiroshi)	電子回路、電気工学演習I、電子工学、半導体工学、電気工学実験III・V、総合セミナー、卒業研究、ナノテクノロジー、専攻研究II、専攻演習
教授　工学博士 佐々木　典　彦 (SASAKI Norihiko)	電磁気学I、電子物性、電気工学演習II、テクニカルライティング、電気法規施設管理、電気工学実験IV、総合セミナー、卒業研究
教授　工学修士 野　角　光　治 (NOGAKU Mitsuharu)	科学技術入門、情報処理基礎、ディジタル回路、電磁気学II・III、通信工学I、電気工学実験III・V、総合セミナー、卒業研究
准教授　博士（情報科学） 佐　藤　　隆 (SATO Takashi)	電気回路II、プログラミングII、数値計算法、電気工学演習I、計算機工学、応用情報工学、創造実習、電気工学実験II・V、インターンシップ、総合セミナー、卒業研究

職名・学位／氏名	担当科目
准教授　博士（工学） 古　瀬　則　夫 (FURUSE Norio)	電気工学実験II・V、卒業研究、創造工学演習、応用電子計測
准教授　博士（工学） 山　田　　洋 (YAMADA Hiroshi)	電気工学基礎、電気機器I・II、電力工学、電気電子材料、電気工学演習II、電気機器II、電気工学基礎実験、電気工学実験I・IV、総合セミナー、卒業研究、専攻研究II
准教授　博士（工学） 若　生　一　広 (WAKO Kazuhiro)	科学技術入門、電磁気学I、電気回路III、電気工学演習II、電気機器III、ものづくり実習、協学実習、電気工学実験II・IV、総合セミナー、卒業研究、応用光学、専攻研究I・II
助教　博士（工学） 佐　藤　　拓 (SATO Taku)	電気回路I、電気計測I、電気工学実験II・IV、総合セミナー、卒業研究、応用電子計測、専攻実験、専攻研究I・II
助教　博士（工学） 柳　生　穂　高 (YAGYU Hotaka)	電気計測II、応用物理I、エンジニアリングデザイン概論、電気工学基礎実験、電気工学実験I・IV、創造実習、総合セミナー、卒業研究

生産システムデザイン工学系

名取キャンパス

マテリアル環境工学科

環境と調和した循環型社会の実現には、すべての製品のもとであるマテリアルの高性能化と環境リスク低減が強く望まれています。マテリアル環境工学科では、金属、無機、有機などマテリアルの幅広い専門知識と作製・評価技術、並びに地球環境の基礎概念と環境分析について、授業と実験がリンクした総合的な教育を実施します。研究活動やディスカッションを通して創造性や問題解決能力を高め、環境維持と社会発展の両立に貢献できるマテリアル総合エンジニアを育成します。

環境分析実験でのディスカッション

FE-SEMを用いた物質表面の観察実験

■教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	マテリアル基礎科学	2	2					
	マテリアル環境基礎実習	3	3					
	材料組織学A	1		1				
	地球環境科学	1		1				
	マテリアル工作実習	3		3				
	創造実習	1		1				
	基礎電気A	1		1				
	材料組織学B	2			2			
	材料物性Ⅰ	2			2			
	有機化学Ⅰ	1			1			
	マテリアル工学実験Ⅰ	3			3			
	設計製図	3			3			
	情報処理	2			2			
	基礎生物	1			1			
	材料力学	2				2		
	構成材料A	2				2		
	物理化学A	2				2		
	材料組織学Ⅱ	2				2		
	材料物性Ⅱ	2				2		
	機器分析	2				2		
	マテリアル工学実験Ⅱ	3				3		
	環境分析実験	2				2		
	工業倫理	1				1		
	総合セミナー	2				2		
	構成材料B	2					2	
	セラミックス材料	2					2	
	卒業研究	12					12	
	小　計	62	5	7	14	20	16	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	応用物理ⅠA	1			1			
	応用物理ⅠB	1			1			
	工学力学A	1			1			
	工学力学B	1			1			
	基礎電気B	1			1			
	応用物理ⅡA	2				2		
	電磁気学	2				2		
	基礎生物化学	2				2		
	物理化学B	2				2		
	有機化学Ⅱ	2				2		
	エンジニアリングデザイン概論	1				1		
	テクニカルライティング	1				1		
	解析学	2				2		
	インターンシップ	1〜2				1〜2		
	加工プロセス工学	2					2	
	機能材料	2					2	
	化学プロセス工学	2					2	
	有機材料	2					2	
	電気化学	2					2	
	制御工学	1					1	
	環境工学	1					1	
	経営工学	1					1	
	知的財産概論	1					1	
	長期インターンシップB	5					5	
	協学実習	1				1	1	
	総合科目B	1以上			1以上	1以上	1以上	
	特別学修B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	小　計	42以上	1以上	1以上	7以上	18以上	22以上	
開設単位数計		104以上	6以上	8以上	21以上	38以上	38以上	

1　一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。
2　一般科目の総合科目A及び特別学修A並びに専門科目の総合科目B及び特別学修Bは、併せて上限8単位とする。

■教員

職名・学位／氏名	担当科目
教授　工学修士 熊　谷　晃　一 (KUMAGAI Koichi)	マテリアル環境基礎実習、マテリアル基礎実験、 マテリアル工学実験Ⅰ、基礎電気Ⅱ、情報処理Ⅲ、 総合セミナー、卒業研究、有機材料、専攻実験、 専攻研究
教授　博士（工学） 浅　田　　格 (ASADA Kaku)	マテリアル基礎科学、マテリアル基礎実験、 総合セミナー、材料物性Ⅱ、構成材料Ⅰ、卒業研究、 機能材料、組織制御学、専攻研究
教授　博士（工学） 石　井　宏　幸 (ISHII Hiroyuki)	マテリアル基礎実験、創造実習、 マテリアル工学実験Ⅰ、設計製図、 テクニカルライティング、創造工学演習、物質化学
教授　博士（工学） 佐　藤　友　章 (SATOH Tomoaki)	マテリアル環境基礎実習、総合セミナー、 マテリアル工学実験Ⅱ、環境分析実験、卒業研究、 セラミックス材料、物質評価学、専攻研究
特任教授　理学博士 鈴　木　吉　朗 (SUZUKI Yoshiro)	マテリアル基礎実験、材料物性Ⅰ、電磁気学、 卒業研究、電子機能デバイス、専攻研究
准教授　博士（工学） 伊　東　　航 (ITO Wataru)	マテリアル環境基礎実習、物質の構造、創造実習、 特別活動、情報処理Ⅱ、マテリアル環境実習、 マテリアル工学実験Ⅰ、総合セミナー、環境分析実験、 卒業研究、構成材料Ⅱ、専攻研究

職名・学位／氏名	担当科目
准教授　博士（工学） 北　川　明　生 (KITAKAWA Akio)	マテリアル環境基礎実習、マテリアル基礎実験、 マテリアル工学実験Ⅰ、情報処理Ⅲ、総合セミナー、 物理化学Ⅰ、物理化学Ⅱ、卒業研究、 化学プロセス工学、制御工学、シミュレーション工学、 専攻研究
准教授　博士（工学） 熊　谷　　進 (KUMAGAI Susumu)	科学技術入門、材料力学Ⅰ・Ⅱ、協学実習、 総合セミナー、マテリアル工学実験Ⅱ、卒業研究、 構成材料Ⅱ、応用材料加工学、専攻研究
准教授　博士（理学） 関　戸　　大 (SEKIDO Masaru)	マテリアル環境基礎実習、マテリアル基礎実験、 マテリアル工学実験Ⅰ、有機化学Ⅰ、総合セミナー、 環境分析実験、化学概論、卒業研究、有機材料、 専攻実験、環境化学概論、専攻研究
准教授　博士（工学） 武　田　光　博 (TAKEDA Mitsuhiro)	マテリアル環境基礎実習、情報処理Ⅱ、設計製図、 材料組織学Ⅰ・Ⅱ、マテリアル工学実験Ⅱ、 総合セミナー、加工プロセス学、卒業研究、 材料システム学、専攻研究
助教　博士（工学） 松　原　正　樹 (MATSUBARA Masaki)	マテリアル基礎科学、マテリアル基礎実習、 マテリアル工学実験Ⅱ、機能材料、有機化学Ⅱ、 総合セミナー
助教　博士（工学） 森　　真奈美 (MORI Manami)	科学技術入門、マテリアル環境基礎実習、 マテリアル基礎実験、材料力学Ⅰ、総合セミナー、 環境分析実験、卒業研究、加工プロセス工学

生産システムデザイン工学系

名取キャンパス

建築デザイン学科

人類は様々な建築をデザインし、創ってきました。これから我々は持続可能な社会と環境を継承していかなければなりません。

建築デザイン学科では、低学年から基礎的科目を学び、段階的に設計製図や実験・実習、卒業研究など実践的学習に重点を置き、建築に関する基礎知識と基礎技術を身に付けた学生を育てます。さらに、人間性豊かな教養と芸術的感性を養い、デザインの基礎的素養を身に付け、質の高い住空間、社会環境の創造に携わる公平公正な実践的技術者を育成します。

模型制作の授業

設計製図講評会

■教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	情報処理A	1	1					
	建築設計製図Ⅰ	2	2					
	空間デザイン概論A	1	1					
	空間デザイン概論B	1	1					
	創造実習	1		1				
	情報処理B	1		1				
	建築設計製図Ⅱ	4		4				
	建築構造概論	1		1				
	造形	1			1			
	日本建築史	1			1			
	西洋建築史	1			1			
	建築設計製図Ⅲ	6			6			
	住環境計画	1			1			
	人間工学	2			2			
	建築環境工学Ⅰ	2			2			
	建築材料Ⅰ	1			1			
	建築構造力学Ⅰ	2			2			
	建築設計製図Ⅳ	4				4		
	公共施設計画Ⅰ	2				2		
	設備工学Ⅰ	1				1		
	建築構造力学Ⅱ	3				3		
	建築構造学Ⅰ	2				2		
	建築実験実習	4				4		
	工業倫理	1				1		
	総合セミナー	2				2		
	建築設計製図Ⅴ	2					2	
	卒業研究	12					12	
	小　計	62	5	7	17	19	14	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	応用物理	2			2			
	建築数理	1				1		
	テクニカルライティング	1				1		
	エンジニアリングデザイン概論	1				1		
	ＣＡＤ・ＣＧ演習	2				2		
	都市計画	2				2		
	建築環境工学Ⅱ	1				1		
	建築材料Ⅱ	2				2		
	公共施設計画Ⅱ	1				1		
	インターンシップ	1〜2				1〜2		
	経営工学	1					1	
	デザイン概論	1					1	
	感性工学	2					2	
	設備工学Ⅱ	2					2	
	環境工学	1					1	
	建築構造力学Ⅲ	2					2	
	建築構造学ⅡA	2					2	
	建築構造学ⅡB	2					2	
	建築施工	2					2	
	建築法規	1					1	
	測量	2					2	
	知的財産概論	1					1	
	長期インターンシップB	5					5	
	協学実習	1				1	1	
	総合科目B	1以上			1以上	1以上	1以上	
	特別学修B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	小　計	41以上	1以上	1以上	4以上	15以上	27以上	
開設単位数計		103以上	6以上	8以上	21以上	34以上	41以上	

1　一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。
2　一般科目の総合科目Ａ及び特別学修Ａ並びに専門科目の総合科目Ｂ及び特別学修Ｂは、併せて上限８単位とする。

■教員

職名・学位／氏名	担当科目
教授　博士（工学） 坂　口　大　洋 (SAKAGUCHI Taiyo)	空間デザイン概論Ａ、建築設計製図Ⅲ・Ⅳ、 施設計画論、住環境計画、公共施設計画、総合セミナー、 卒業研究、地域デザイン論、専攻研究
教授　博士（工学） 小　林　　仁 (KOBAYASHI Hiroshi)	工業倫理、建築環境工学Ⅱ・Ⅴ、創造実習、 総合セミナー、卒業研究、専攻研究、創造工学演習、 環境物理、設備工学Ⅱ
教授　博士（工学） 飯　藤　將　之 (HANDOU Masayuki)	科学技術入門、空間デザイン概論Ｂ、 建築設計製図Ⅱ・Ⅲ、建築構造学Ⅰ、建築実験実習、 総合セミナー、インターンシップ、 テクニカルライティング、建築数理、卒業研究、 専攻研究、専攻実験
嘱託教授 笠　松　富二夫 (KASAMATSU Fujio)	建築構造力学Ⅲ、建築実験実習、建築構造学ⅡＢ
准教授　博士（文学） 伊　師　華　江 (ISHI Hanae)	科学技術入門、情報処理Ａ、建築設計製図Ⅱ、 創造実習、人間工学、感性工学、総合セミナー、 卒業研究、テクニカルライティング、専攻研究、 感性デザイン

職名・学位／氏名	担当科目
准教授　博士（工学） 小地沢　将　之 (KOCHIZAWA Masayuki)	造形、建築設計製図Ⅲ・Ⅴ、都市計画、 総合セミナー、卒業研究、地域・都市計画、 地域デザイン論、専攻研究
准教授　博士（工学） 権　代　由　範 (GONDAI Yoshinori)	建築設計製図Ⅰ、建築材料Ⅰ・Ⅱ、建築実験実習、 測量、総合セミナー、卒業研究、専攻実験、 材料設計法、建築生産、特別研究
准教授　博士（工学） 相　模　誓　雄 (SAGAMI Chikao)	建築設計製図Ⅱ・Ⅲ、日本建築史、西洋建築史、 CAD・CG実習、デザイン概論、総合セミナー、 卒業研究、建築史特論
准教授　博士（工学） 藤　田　智　己 (FUJITA Tomomi)	建築設計製図Ⅰ、情報処理Ｂ、建築構造力学Ⅰ・Ⅱ、 建築実験実習、総合セミナー、卒業研究、専攻研究、 構造動力学、エンジニアリングデザイン概論
助教　修士（工学） 祝　　亜　弥 (IWAI Aya)	空間デザイン概論Ａ、住環境計画、 建築設計製図Ⅱ・Ⅲ、CAD・CG演習、総合セミナー、 デザイン概論、卒業研究
助教　博士（工学） 吉　野　裕　貴 (YOSHINO Yuki)	建築構造力学Ⅰ・Ⅱ、情報処理Ａ・Ｂ、建築実験実習、 総合セミナー、卒業研究

情報電子システム工学系

広瀬キャンパス

知能エレクトロニクス工学科

エレクトロニクス技術を駆使した様々な機器・システムの知能化を通して、地球の環境保全、人類の福祉や安全な社会の実現が求められています。その土台となる新しいエレクトロニクス機器・デバイスやその応用技術の開発ができる創造的な技術者を養成する学科です。電子回路のようなエレクトロニクス技術の基礎から、マイクロコンピュータ技術やプログラミング技術、さらには様々な電子デバイス・材料からレーザやロボティクスといった応用技術まで、実験・実習を重視して幅広く学修できることが特徴です。

創造工学実習
（マイコンによる機器制御の実験）

知能エレクトロニクス製作
（テーマ：硬貨検知ライントレース自動車の製作）

■教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	コンピュータリテラシ	2	2					
	創造工学	4	4					
	電気回路基礎	2		2				
	ディジタル技術基礎	2		2				
	プログラミング基礎	2		2				
	プロジェクト実習	2		2				
	応用数学A	2			2			
	電気回路	2			2			
	ディジタル技術	2			2			
	マイクロコンピュータ基礎	2			2			
	電子回路基礎	2			2			
	電磁気学基礎	1			1			
	プログラミング応用Ⅰ	2			2			
	電子機器基礎	1			1			
	電子計測	1			1			
	知能エレクトロニクス基礎実験	3			3			
	応用数学B	2				2		
	応用数学C	2				2		
	電磁気学A	1				1		
	電磁気学B	1				1		
	電子回路A	1				1		
	電子回路B	1				1		
	プログラミング応用Ⅱ	1				1		
	応用物理Ⅰ	2				2		
	回路工学	1				1		
	知能エレクトロニクス製作	2				2		
	知能エレクトロニクス実験Ⅰ	3				3		
	知能エレクトロニクス実験Ⅱ	3					3	
	卒業研究	7					7	
	小　計	59	6	8	18	17	10	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	電子デバイスⅠ	1				1		
	電子デバイスⅡ	1				1		
	電子物性基礎	2				2		
	制御工学	1				1		
	マイクロコンピュータⅠ	1				1		
	マイクロコンピュータⅡ	1				1		
	電子機器設計基礎	2				2		
	知能エレクトロニクス演習	1				1		
	機構学	2				2		
	インターンシップ	1〜2				1〜2		
	光工学	2					2	
	集積回路基礎	2					2	
	応用電子回路	2					2	
	レーザ工学	2					2	
	超高周波工学	2					2	
	コンピュータシステム	2					2	
	ロボティクス	2					2	
	電子機器	1					1	
	生産管理工学	2					2	
	応用物理Ⅱ	2					2	
	長期インターンシップB	10					10	
	総合科目B	1以上			1以上	1以上	1以上	
	特別学修B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	小　計	44以上	1以上	1以上	2以上	15以上	31以上	
開設単位数計		103以上	7以上	9以上	20以上	32以上	41以上	

1　一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。
2　一般科目の総合科目Ａ及び特別学修Ａ並びに専門科目の総合科目Ｂ及び特別学修Ｂは、併せて上限８単位とする。

■教員

職名・学位／氏名	担当科目
教授　博士（工学） 那　須　潜　思 (NASU Senshi)	創造工学、プロジェクト実習、電子機器基礎、 マイクロコンピュータ基礎､マイクロコンピュータⅠ･Ⅱ、 知能エレクトロニクス製作、 知能エレクトロニクス実験Ⅰ･Ⅱ、光工学、卒業研究、 専攻実験・演習Ⅰ、専攻研究
教授　工学博士 大　泉　哲　哉 (OIZUMI Tetsuya)	プロジェクト実習、機構学、創造工学、 知能エレクトロニクス基礎実験、 知能エレクトロニクス製作、 知能エレクトロニクス実験Ⅰ・Ⅱ、ロボティクス、 卒業研究、専攻実験・演習Ⅰ、専攻研究Ⅰ
教授　博士（学術） 園　田　　潤 (SONODA Jun)	創造工学、プログラミング応用Ⅰ・Ⅱ、 電磁気学Ａ・Ｂ、知能エレクトロニクス製作、 知能エレクトロニクス実験Ⅰ･Ⅱ､電子機器､卒業研究
教授　工学博士 馬　場　一　隆 (BABA Kazutaka)	創造工学、プロジェクト実習、電気回路、回路工学、 知能エレクトロニクス実験Ⅰ・Ⅱ、光工学、 超高周波工学、技術者倫理、卒業研究、 専攻実験・演習Ⅱ、専攻研究
教授　Ph.D 藤　木　なほみ (FUJIKI Nahomi)	プログラミング基礎、コンピュータリテラシ、 応用物理Ⅰ、応用数学Ｂ・Ｃ、創造工学、 知能エレクトロニクス製作、 知能エレクトロニクス実験Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、 情報数学特論
准教授　博士（工学） 川　崎　浩　司 (KAWASAKI Koji)	創造工学、プロジェクト実習、電子回路基礎、 電子計測、知能エレクトロニクス基礎実験、 知能エレクトロニクス実験Ⅰ・Ⅱ、 知能エレクトロニクス演習、電子機器、卒業研究

職名・学位／氏名	担当科目
准教授　博士（工学） 佐久間　実　緒 (SAKUMA Mio)	ディジタル技術、プログラミング応用Ⅱ、 知能エレクトロニクス基礎実験、応用電子回路、 創造工学、知能エレクトロニクス製作、 知能エレクトロニクス実験Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、 専攻実験・演習Ⅱ、専攻研究
准教授　博士（工学） 末　永　貴　俊 (SUENAGA Takatoshi)	マイクロコンピュータ基礎､マイクロコンピュータⅠ･Ⅱ、 電子機器設計基礎、創造工学、プロジェクト実習、 知能エレクトロニクス製作、電子機器、 知能エレクトロニクス実験Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、 専攻実験・演習Ⅱ、専攻研究
准教授　博士（工学） 關　　成　之 (SEKI Shigeyuki)	知能エレクトロニクス基礎実験､ディジタル技術基礎、 プロジェクト実習、知能エレクトロニクス演習、 創造工学、知能エレクトロニクス製作、 知能エレクトロニクス実験Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、 電子機器、専攻実験・演習Ⅰ、専攻研究
准教授　修士（工学） 與那嶺　尚　弘 (YONAMINE Takahiro)	マイクロコンピュータ基礎、プログラミング応用Ⅰ、 マイクロコンピュータⅠ・Ⅱ、プロジェクト実習、 創造工学、知能エレクトロニクス製作、 知能エレクトロニクス実験Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、 計算機アーキテクチャ、専攻実験・演習Ⅰ、 専攻研究Ⅰ
助教　博士（工学） 大　場　　譲 (OHBA Yuzuru)	創造工学、コンピュータリテラシ、制御工学、 プログラミング基礎､知能エレクトロニクス実験Ⅰ･Ⅱ、 コンピュータシステム、卒業研究、専攻実験･演習Ⅱ、 専攻研究

情報電子システム工学系

広瀬キャンパス

情報システム工学科

ソフトウェアを中心とした情報システムの基礎から応用まで、総合的な知識と技術を備えた人材の育成を目指しています。コンピュータの仕組み、プログラミング、Web、インターネットなど、世界で活躍できるシステムエンジニアに必要な技術について体系的に学ぶことができます。

情報処理技術者試験、ネットワーク技術者認定など、情報系技術者にとって重要な資格の取得も目標とします。

創造工学実習

プロジェクト実習

■教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	コンピュータリテラシ	2	2					
	創造工学	4	4					
	電気回路基礎	2		2				
	ディジタル技術基礎	2		2				
	プログラミング基礎	2		2				
	プロジェクト実習	2		2				
	応用数学A	2			2			
	電気回路	2			2			
	ディジタル技術	2			2			
	マイクロコンピュータ基礎	2			2			
	電子回路基礎	2			2			
	プログラミング	3			3			
	コンピュータシステム基礎	2			2			
	データ工学基礎	1			1			
	情報システム基礎実験	2			2			
	応用数学B	2				2		
	応用数学C	2				2		
	電磁気学A	1				1		
	電磁気学B	1				1		
	電子回路A	1				1		
	電子回路B	1				1		
	ソフトウェア工学基礎	2				2		
	応用プログラミングⅠ	1				1		
	応用プログラミングⅡ	1				1		
	ディジタルシステムA	1				1		
	ディジタルシステムB	1				1		
	ネットワーキングⅠ	3				3		
	ネットワーキングⅡ	3				3		
	情報システム実験Ⅰ	3				3		
	情報システム実験Ⅱ	3					3	
	卒業研究	7					7	
	小　計	65	6	8	18	23	10	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	情報システム演習Ⅰ	1				1		
	情報システム演習Ⅱ	1				1		
	情報数学	1				1		
	データ工学	1				1		
	ソフトウェア分析設計	1				1		
	インターンシップ	1〜2				1〜2		
	情報セキュリティ	1					1	
	ネットワーキングⅢ	3					3	
	ネットワーキングⅣ	3					3	
	組込みシステム	1					1	
	ディジタル制御	1					1	
	数値計算	1					1	
	知識工学基礎	1					1	
	コンピュータアーキテクチャ	1					1	
	オペレーティングシステム	2					2	
	福祉工学	2					2	
	情報システム概論	2					2	
	情報社会学	2					2	
	長期インターンシップB	10					10	
	総合科目B	1以上			1以上	1以上	1以上	
	特別学修B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	小　計	38以上	1以上	1以上	2以上	8以上	32以上	
開設単位数計		103以上	7以上	9以上	20以上	31以上	42以上	

1　一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。
2　一般科目の総合科目Ａ及び特別学修Ａ並びに専門科目の総合科目Ｂ及び特別学修Ｂは、併せて上限８単位とする。

■教員

職名・学位／氏名	担当科目
教授 博士（情報科学） 早　川　吉　弘 (HAYAKAWA Yoshihiro)	創造工学、プロジェクト実習、電子回路基礎、情報システム基礎実験、電子回路A、ディジタルシステムB、情報システム概論、情報システム実験Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、専攻実験・演習Ⅱ、専攻研究Ⅰ・Ⅱ
特任教授　理学博士 海　野　啓　明 (KAINO Keimei)	コンピュータリテラシ、電気回路基礎、電気回路、プログラミング、電磁気学B、数値計算、情報数学特論、情報システム実験Ⅰ・Ⅱ、情報システム概論、卒業研究
教授　博士（工学） 熊　谷　和　志 (KUMAGAI Kazushi)	創造工学、プロジェクト実習、情報システム基礎実験、電磁気学A、電子回路B、ディジタルシステムA、組込みシステム、ディジタル制御、情報システム実験Ⅰ・Ⅱ、情報システム概論、卒業研究、専攻研究Ⅰ
教授　理学博士 竹　茂　　求 (TAKESHIGE Motomu)	プログラミング基礎、プロジェクト実習、情報システム実験Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、情報システム概論、情報システム演習Ⅱ、専攻研究Ⅰ・Ⅱ、専攻実験・演習Ⅰ・Ⅱ、工業数学、科学史
教授 博士（情報科学） 竹　島　久　志 (TAKESHIMA Hisashi)	コンピュータリテラシ、プログラミング、情報システム基礎実験、情報システム演習Ⅰ、応用プログラミングⅡ、情報システム実験Ⅰ・Ⅱ、情報システム概論、福祉工学、卒業研究、専攻実験・演習Ⅱ、専攻研究Ⅰ・Ⅱ
准教授 博士（情報科学） 安　藤　敏　彦 (ANDO Toshihiko)	創造工学、プロジェクト実習、プログラミング、ソフトウェア分析設計、情報セキュリティ、オペレーティングシステム、情報システム概論、情報システム実験Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、知識工学、専攻実験・演習Ⅱ、専攻研究Ⅰ・Ⅱ

職名・学位／氏名	担当科目
准教授　博士（理学） 岡　本　圭　史 (OKAMOTO Keishi)	創造工学、プログラミング基礎、データ工学基礎、応用数学B、情報数学、データ工学、ソフトウェア分析設計、情報システム実験Ⅰ、情報システム概論、卒業研究、工業数学Ⅱ、専攻実験・演習Ⅱ、専攻研究Ⅰ
准教授 修士（情報科学） 菅　野　浩　徳 (KANNO Hironori)	コンピュータシステム基礎、ネットワーキングⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、情報システム実験Ⅰ・Ⅱ、情報システム概論、卒業研究
准教授　工学修士 武　田　正　則 (TAKEDA Masanori)	電気回路基礎、情報システム基礎実験、プロジェクト実習
准教授 博士（情報科学） 力　武　克　彰 (RIKITAKE Yoshiaki)	創造工学、ディジタル技術、情報システム基礎実験、マイクロコンピュータ基礎、ディジタルシステムA、情報システム概論、情報システム実験Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、専攻実験・演習Ⅱ、専攻研究Ⅰ・Ⅱ、計算機アーキテクチャ
助教　博士（工学） 小　林　秀　幸 (KOBAYASHI Hideyuki)	ディジタル技術基礎、マイクロコンピュータ基礎、情報システム基礎実験、ネットワーキングⅠ・Ⅱ、組み込みシステム、コンピュータアーキテクチャ、情報システム実験Ⅰ・Ⅱ、情報システム概論、卒業研究、ソフトウェア工学Ⅰ、専攻実験・演習Ⅱ、専攻研究Ⅱ

情報電子システム工学系

広瀬キャンパス

情報ネットワーク工学科

インターネット、携帯電話、ディジタル放送など、今や情報ネットワークやコミュニケーションシステムは社会にとって必要不可欠な基盤となっています。様々なシステムが相互に関連しあう一方、安定した運用が求められる情報基盤においては、通信・ネットワーク・コンピュータに関する幅広い知識と技術が求められます。情報ネットワーク工学科では、電気通信の基礎からインターネットワーキング、ネットワークを利用した情報システムまでをバランスよく系統的かつ実践的に教授することで、情報化社会の発展とその基盤を担う人材を育成します。

TV電波測定

ネットワーキング実習

■教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	コンピュータリテラシ	2	2					
	創造工学	4	4					
	電気回路基礎	2		2				
	ディジタル技術基礎	2		2				
	プログラミング基礎	2		2				
	プロジェクト実習	2		2				
	応用数学A	2			2			
	電気回路	2			2			
	ディジタル技術	2			2			
	マイクロコンピュータ基礎	2			2			
	電子回路基礎	2			2			
	電磁気学	2			2			
	プログラミング	2			2			
	ネットワークシステム基礎	1			1			
	ネットワーキング基礎	3			3			
	応用数学B	2				2		
	応用数学C	2				2		
	電磁波工学Ⅰ	2				2		
	電子回路A	1				1		
	情報セキュリティ基礎	1				1		
	ネットワークプログラミングⅠ	1				1		
	ネットワーキング技術Ⅰ	2				2		
	ネットワーキング技術Ⅱ	2				2		
	情報ネットワーク実験Ⅰ	3				3		
	情報ネットワーク実験Ⅱ	3					3	
	卒業研究	7					7	
	小　計	58	6	8	18	16	10	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	電子回路B	1				1		
	電子回路C	1				1		
	組込みシステム	1				1		
	情報理論	1				1		
	ネットワーク理論	2				2		
	マルチメディア情報	1				1		
	データ管理技術	1				1		
	ネットワークプログラミングII	1				1		
	インターンシップ	1〜2				1〜2		
	レーザ工学	1					1	
	光通信システム	2					2	
	電磁波工学II	2				2		
	電磁波工学III	2					2	
	無線通信システム	2					2	
	通信計測	2					2	
	コミュニケーションシステム	2					2	
	通信法規	1					1	
	情報セキュリティ	1					1	
	情報社会学	2					2	
	分散コンピューティングI	1					1	
	分散コンピューティングII	1					1	
	ネットワークシステム開発	2					2	
	コンピュータシステム	1					1	
	ネットワークアーキテクチャ	1					1	
	長期インターンシップB	10					10	
	総合科目B	1以上			1以上	1以上	1以上	
	特別学修B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	小　計	45以上	1以上	1以上	2以上	14以上	33以上	
開設単位数計		103以上	7以上	9以上	20以上	30以上	43以上	

1　一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。
2　一般科目の総合科目A及び特別学修A並びに専門科目の総合科目B及び特別学修Bは、併せて上限8単位とする。

■教員

職名・学位／氏名	担当科目
教授　博士（工学） 矢　島　邦　昭 (YAJIMA Kuniaki)	コンピュータリテラシ、創造工学、プロジェクト実習、ネットワークプログラミングI、情報ネットワーク実験I・II、卒業研究、ネットワークシステム開発、専攻実験・演習II、専攻研究、画像処理論
教授　工学博士 佐　藤　公　男 (SATO Kimio)	創造工学、ディジタル技術基礎、プロジェクト実習、電気回路、情報ネットワーク実験I・II、卒業研究、情報理論、ネットワーク理論、専攻実験・演習II、専攻研究、信頼性工学
教授　工学博士 鈴　木　　哲 (SUZUKI Tetsu)	創造工学、プロジェクト実習、電子回路基礎、電磁波工学I、情報ネットワーク実験I・II、卒業研究、電子回路C、通信計測、専攻実験・演習II、専攻研究、電子回路設計
教授　工学修士 脇　山　俊一郎 (WAKIYAMA Shunichiro)	創造工学、プロジェクト実習、ネットワーキング基礎、ネットワーキング技術II、情報ネットワーク実験I・II、卒業研究、通信法規、ネットワークシステム開発、ネットワークアーキテクチャ、専攻実験・演習II、専攻研究、ネットワーク基礎論I、インターネットアーキテクチャ
特任教授　博士（工学） 石　井　誠四郎 (ISHII Seishiro)	創造工学、プロジェクト実習、電子回路基礎、ネットワーキング基礎、情報ネットワーク実験I・II、卒業研究、電子回路C、電磁波工学III、無線通信システム

職名・学位／氏名	担当科目
准教授　博士（工学） 今　井　裕　司 (IMAI Yuji)	創造工学、電気回路基礎、ディジタル技術基礎、プロジェクト実習、マイクロコンピュータ基礎、電子回路A・B、情報ネットワーク実験I・II、卒業研究、電子回路B、分散コンピューティングI
准教授　博士（工学） 岩　井　克　全 (IWAI Katsumasa)	コンピュータリテラシ、創造工学、プロジェクト実習、ネットワーキング技術I、情報ネットワーク実験I・II、卒業研究、レーザ工学、光通信システム、専攻実験・演習II、専攻研究
准教授　博士（工学） 奥　村　俊　昭 (OKUMURA Toshiaki)	創造工学、プロジェクト実習、プログラミング、マルチメディア情報、ネットワークシステム開発、コンピュータシステム、情報ネットワーク実験I・II、卒業研究、ソフトウェア工学I、認識工学、専攻実験・演習I
准教授 博士（情報科学） 平　塚　眞　彦 (HIRATSUKA Masahiko)	創造工学、ディジタル技術基礎、プロジェクト実習、ディジタル技術、情報ネットワーク実験I・II、卒業研究、ディジタル信号処理
准教授 博士（情報科学） 藤　原　和　彦 (FUJIWARA Kazuhiko)	創造工学、プログラミング基礎、プロジェクト実習、プログラミング、情報ネットワーク実験I・II、卒業研究、データ管理技術、ネットワークシステム開発、専攻実験・演習II、専攻研究、ソフトウェア工学I
助教 博士（情報科学） 衣　川　昌　宏 (KINUGAWA Masahiro)	創造工学、プログラミング基礎、プロジェクト実習、ネットワーキング基礎、ネットワーキング技術II、情報ネットワーク実験I・II、卒業研究、通信計測、情報セキュリティ

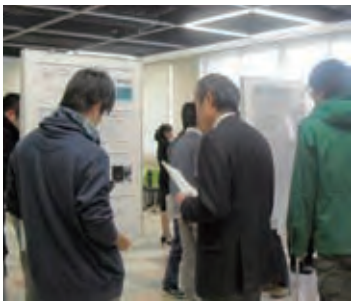
専攻科

名取キャンパス

生産システムデザイン工学専攻

準学士課程で培った工学的素養の上に高度な専門技術を学ぶとともに、横断的な工学知識・技術を学習し、複合領域への対応能力を身に付けます。さらに、産業界や地域社会、海外の教育機関と連携した体験的実務学習により、身に付けた工学的素養を知恵にまで深めます。こうして、将来ものづくり分野を革新させる知恵と複眼的視野と複合領域への対応技術を併せ持ち、ものづくり過程の全体を見渡し技術の目利きをすることができる資質を養成します。

海外インターンシップ



専攻研究中間発表ポスターセッション

■教育課程【一般科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当		備考
			1年	2年	
必修科目	英語Ⅰ	2	2		
	英語Ⅱ	2		2	
	小　計	4	2	2	
選択科目	日本の言葉と文学	2	2		
	日本語表現	2	2		
	歴史と文化	2	2		
	健康と科学	2	2		
	線形代数学	2	2		
	確率統計概論	2	2		
	小　計	12	12	0	
開設単位数計		16	14	2	8単位以上修得すること。

専攻科棟

■教育課程【専門科目】

生産システム工学コース

区分	授業科目	単位数	学年別配当		備考
			1年	2年	
必修科目	環境化学概論	2	2		
	専攻研究Ⅰ	6	6		
	専攻研究Ⅱ	8		8	
	専攻実験	4	4		
	創造工学演習	4	4		
	技術者倫理	1	1		
	小　計	25	17	8	
選択科目	地球環境と都市	2	2		
	安全と省エネルギー	2		2	
	生物化学	2	2		
	シミュレーション工学	2		2	
	応用物理学	2	2		
	データ解析学	2		2	
	弾塑性力学	2		2	
	生体工学	2		2	
	組織制御学	2	2		
	ナノテクノロジー	2		2	
	固体の力学	2	2		
	材料システム学	2	2		
	物質化学	2		2	
	流れ学	2	2		
	伝熱論	2	2		
	システム制御工学	2		2	
	固体物性工学	2	2		
	物質評価学	2		2	
	電子機能デバイス	2		2	
	応用材料加工学	2		2	
	プラズマ応用工学	2		2	
	応用電子計測	2		2	
	情報工学特論	2		2	
	応用信号処理論	2	2		
	画像処理工学	2		2	
	情報ネットワーク特論	2		2	
	オペレーティングシステム	2		2	
	インターンシップ	4～8	4～8		
	エンジニアリング実習	4	4		
	小　計	62～66	28～32	34	
開設単位数計		87～91	45～49	42	

1　一般科目及び専門科目を合わせて、62単位以上修得、そのうち、一般科目８単位以上、専門科目54単位以上を修得する。

建築デザイン学コース

区分	授業科目	単位数	学年別配当		備考
			1年	2年	
必修科目	環境化学概論	2	2		
	専攻研究Ⅰ	6	6		
	専攻研究Ⅱ	8		8	
	専攻実験	4	4		
	創造工学演習	4	4		
	技術者倫理	1	1		
	小　計	25	17	8	
選択科目	地球環境と都市	2	2		
	安全と省エネルギー	2		2	
	生物化学	2	2		
	シミュレーション工学	2		2	
	応用物理学	2	2		
	データ解析学	2		2	
	建築設計製図	2	2		
	地域デザイン論	2	2		
	地域・都市計画	2	2		
	感性デザイン	2	2		
	芸術とデザイン	2	2		
	環境物理	2	2		
	構造動力学	2	2		
	材料設計法	2	2		
	建築史特論	2		2	
	施設計画論	2		2	
	色彩工学	2		2	
	測色計算実習	2		2	
	環境システムシミュレーション	2		2	
	構造デザイン	2		2	
	建築生産	2		2	
	インターンシップ	4〜8	4〜8		
	エンジニアリング実習	4	4		
	小　計	50〜54	30〜34	20	
開設単位数計		75〜79	47〜51	28	

1　一般科目及び専門科目を合わせて、62単位以上修得、そのうち、一般科目８単位以上、専門科目54単位以上を修得する。

情報デザイン学コース

区分	授業科目	単位数	学年別配当		備考
			1年	2年	
必修科目	環境化学概論	2	2		
	専攻研究Ⅰ	6	6		
	専攻研究Ⅱ	8		8	
	専攻実験	4	4		
	創造工学演習	4	4		
	技術者倫理	1	1		
	小　計	25	17	8	
選択科目	地球環境と都市	2	2		
	安全と省エネルギー	2		2	
	生物化学	2	2		
	シミュレーション工学	2		2	
	応用物理学	2	2		
	データ解析学	2		2	
	感性デザイン	2	2		
	芸術とデザイン	2	2		
	情報デザイン工学	2	2		
	情報工学特論	2		2	
	応用信号処理論	2	2		
	画像処理工学	2		2	
	情報ネットワーク特論	2		2	
	オペレーティングシステム	2		2	
	色彩工学	2		2	
	測色計算実習	2		2	
	インターンシップ	4〜8	4〜8		
	エンジニアリング実習	4	4		
	小　計	40〜44	22〜26	18	
開設単位数計		65〜69	39〜43	26	

1　一般科目及び専門科目を合わせて、62単位以上修得、そのうち、一般科目８単位以上、専門科目54単位以上を修得する。

■教員

職名・学位／氏名	担当科目
教授　博士（工学） 本　郷　　哲 (HONGO Satoshi)	創造工学演習、インターンシップ、エンジニアリング実習、ディジタル信号処理、専攻研究、専攻実験、応用信号処理論、画像処理工学、CAD・CG演習、総合セミナー、卒業研究
教授　工学博士 遠　藤　智　明 (ENDO Tomoaki)	化学Ⅰ・Ⅱ、化学概論、総合セミナー、卒業研究、材料セミナー、環境科学概論
教授　工学博士 遠　藤　　昇 (ENDO Noboru)	専攻研究、専攻実験、情報ネットワーク特論、オペレーティングシステム、エンジニアリングデザイン概論、総合セミナー、卒業研究、インターンシップ、エンジニアリング実習
教授　修士（教育学） 岡　崎　久美子 (OKAZAKI Kumiko)	英語ⅠB、Ⅰ・Ⅱ、外国語ⅣA・ⅤA

職名・学位／氏名	担当科目
准教授　博士（工学） 大　町　方　子 (OMACHI Masako)	色彩工学、創造工学演習
准教授　博士（学術） 葛　原　俊　介 (KUZUHARA Shunsuke)	マテリアル環境基礎実習、マテリアル基礎実験、機器分析、エンジニアリングデザイン概論、環境分析実験、工業倫理、電気化学、総合セミナー、卒業研究、創造工学演習、専攻実験、専攻研究
准教授　博士（工学） 矢　入　　聡 (YAIRI Satoshi)	電気工学基礎実験、電気工学実験Ⅰ・Ⅳ、プログラミングⅠ・Ⅱ、応用情報工学、総合セミナー、卒業研究、専攻実験、情報デザイン工学、データ解析学、専攻研究
准教授 博士（情報科学） 渡　辺　　隆 (WATANABE Takashi)	機械工作法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、工作実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、総合セミナー、工学実験ⅠA・ⅠB、ⅡA、卒業研究、専攻研究

専攻科

広瀬キャンパス

情報電子システム工学専攻

最先端の情報電子社会を支える技術者には、社会の問題を国際的視野で考察し、高度な情報電子技術を駆使して問題解決する能力が求められます。情報電子システム工学専攻では、企業や学術交流協定を結んでいる海外の諸大学と強力に連携したカリキュラムにより、幅広い教養と情報･電子及び関連分野の高度な専門知識、さらには実践的コミュニケーション能力と国際的視野を養成します。専攻修了後は、国際社会における長期的キャリアを展望できる技術者や研究者への道が開かれます。

海外からの研修生と

企業講師による実践的PBL授業

■教育課程【一般科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当		備考
			1年	2年	
必修科目	英語演習Ⅰ	2	2		
	英語演習Ⅱ	2		2	
	小　計	4	2	2	
選択科目	線形代数学	2	2		
	思想史	2	2		2単位以上修得すること。
	科学史	2	2		
	物理化学	2	2		
	バイオテクノロジー	2	2		
	企業社会学	2		2	
	国際文化特論	1〜2	1〜2		
	小　計	13〜14	11〜12	2	
開設単位数計		17〜18	13〜14	4	10単位以上修得すること。

■教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当		備考
			1年	2年	
必修科目	専攻実験・演習Ⅰ	4	4		
	専攻実験・演習Ⅱ	4		4	
	専攻研究Ⅰ	4	4		
	専攻研究Ⅱ	6		6	
	小　計	18	8	10	

区分	授業科目	単位数	学年別配当		備考
			1年	2年	
選択科目	専攻特別講義Ⅰ	1	1		
	専攻特別講義Ⅱ	1		1	
	専攻実習	2	2		
	工業数学Ⅰ	2	2		
	工業数学Ⅱ	2	2		
	応用数学特論	2	2		
	情報数学特論	2		2	
	データ解析	2	2		
	ディジタル信号処理	2	2		
	物質の構造と性質	2		2	
	エネルギー変換論	2	2		
	電子回路設計	2	2		
	パワーエレクトロニクス	2	2		
	波動伝送工学	2	2		
	信頼性工学	2		2	
	計測制御システム	2		2	
	デバイス工学	2		2	
	ネットワーク基礎論Ⅰ	2	2		
	ネットワーク基礎論Ⅱ	2	2		
	計算機アーキテクチャ	4	4		４単位以上修得すること。
	ソフトウェア工学Ⅰ	4	4		
	ソフトウェア工学Ⅱ	2		2	
	アルゴリズムとデータ構造	2		2	
	知識工学	2		2	
	認識工学	2		2	
	画像処理論	2	2		
	インターネットアーキテクチャ	2		2	
	ネットワーク工学	2	2		
	科学技術特論	1〜2	1〜2		
	インターンシップA	3〜6	3〜6		
	インターンシップB	7〜12	7〜12		
	小　計	69〜78	48〜55	21	
開設単位数計		87〜96	59〜65	31	

1　一般科目及び専門科目を合わせて、62単位以上修得、そのうち、一般科目10単位以上、専門科目52単位以上を修得する。

■教員

職名・学位／氏名	担当科目
教授　博士（工学） 白　根　　崇 (SHIRANE Takashi)	創造工学（第Ⅱ期）、電気回路基礎、 プロジェクト実習、電気回路、情報システム基礎実験、 情報システム演習Ⅱ、情報システム実験Ⅰ・Ⅱ、 情報システム概論、卒業研究、科学史、 計測制御システム、専攻実験・演習Ⅰ・Ⅱ、 専攻研究Ⅰ、専攻特別講義Ⅰ・Ⅱ
教授　工学博士 鈴　木　隆　之 (SUZUKI Takayuki)	電子機器基礎、電子回路Ａ・Ｂ、 知能エレクトロニクス製作、 知能エレクトロニクス実験Ⅰ・Ⅱ、レーザ工学、 電子機器、卒業研究、波動伝送工学、 専攻実験・演習Ⅰ・Ⅱ、専攻研究Ⅰ
教授　博士（工学） 林　　忠　之 (HAYASHI Tadayuki)	電気回路基礎、電子機器基礎、電子デバイスⅠ・Ⅱ、 知能エレクトロニクス製作、 知能エレクトロニクス実験Ⅰ・Ⅱ、電子機器、 卒業研究、エネルギー変換論、専攻実験・演習Ⅰ・Ⅱ、 専攻研究Ⅰ・Ⅱ
教授　博士（工学） 松　枝　宏　明 (MATSUEDA Hiroaki)	応用数学Ａ、電磁気学基礎、情報ネットワーク実験Ⅱ、 卒業研究、科学史、応用数学特論、エネルギー変換論、 専攻実験・演習Ⅰ・Ⅱ、専攻特別講義Ⅰ・Ⅱ、 専攻研究Ⅰ・Ⅱ
教授　博士（工学） 袁　　巧　微 (YUAN Qiaowei)	創造工学、プロジェクト実習、電磁気学、電磁波工学Ⅱ、 情報ネットワーク実験Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、波動伝送工学、 専攻実験・演習Ⅰ・Ⅱ、専攻研究Ⅰ・Ⅱ

職名・学位／氏名	担当科目
特任教授　工学博士 羽　賀　浩　一 (HAGA Kouichi)	知能エレクトロニクス基礎実験、工業所有権基礎、 集積回路基礎、科学史
准教授　博士（工学） 柏　葉　安　宏 (KASHIWABA Yasuhiro)	創造工学（第Ⅱ期）、ディジタル技術基礎、 ディジタル技術、電子機器基礎、 知能エレクトロニクス製作、 知能エレクトロニクス実験Ⅰ・Ⅱ、電子機器、 卒業研究、科学史、専攻実験・演習Ⅰ・Ⅱ、 専攻研究Ⅰ・Ⅱ、デバイス工学
准教授 博士（情報科学） 高　橋　晶　子 (TAKAHASHI Akiko)	創造工学、情報システム基礎実験、 ソフトウェア工学基礎、応用プログラミングⅠ・Ⅱ、 データ工学、知識工学基礎、情報システム概論、 情報社会学、情報システム実験Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、 専攻実験・演習Ⅰ・Ⅱ、専攻研究Ⅰ・Ⅱ
准教授　博士（工学） 速　水　健　一 (HAYAMI Ken-ichi)	プロジェクト実習、ネットワークシステム基礎、 ネットワーキング技術Ⅱ、 ネットワークプログラミングⅡ、 情報セキュリティ基礎、情報ネットワーク実験Ⅰ・Ⅱ、 コミュニケーションシステム、卒業研究、 ネットワーク工学、専攻実験・演習Ⅰ・Ⅱ アルゴリズムとデータ構造、専攻研究Ⅰ

研究推進センター

■研究推進センター
（センター長：遠藤智明　副センター長：林忠之）

仙台高専の研究力の向上と地域産業界への更なる貢献を行うことを目指して、平成27年５月１日に、研究推進センターが発足しました。これまで以上に、高度技術を集積活用し、地域の発展に寄与することを目的としています。

また、昨年度まで地域人材開発本部に設置されていたセンターは、継続して設置されています。なお、これまで開講していた社会人キャリアアップコースは、平成27年度から専攻科の授業として実施することになりした。

地域イノベーションセンター（名取キャンパス）

■地域イノベーションセンター（名取・広瀬キャンパス）
（名取センター長：伊藤昌彦　広瀬センター長：林忠之）

地域イノベーションセンターは、仙台地域の産業界からの期待に応えるために、産学連携、研究支援体制を整備し、研究機関、企業、金融機関等との連携、競争的資金や寄附金等の外部資金の調達、シーズから得られた特許権の取得、学内教員への研究支援と産学連携のコーディネーションを主な事業として推進します。

地域イノベーションセンター（広瀬キャンパス）

■CO-OP教育センター（名取キャンパス）
（センター長：伊藤昌彦）

近年、産業界においては、高度なエンジニアリング・デザイン能力を有し、技術の複合・融合化や総合的な技術革新に携わることができ、将来、国際的に活躍できる技術者が求められています。本センターは、このような社会的要請に応えるべく、地域社会を中心とした「産官学民」と連携してCO-OP教育を推進します。また、東北地区６高専が連携して推進するCO-OP教育の拠点でもあります。

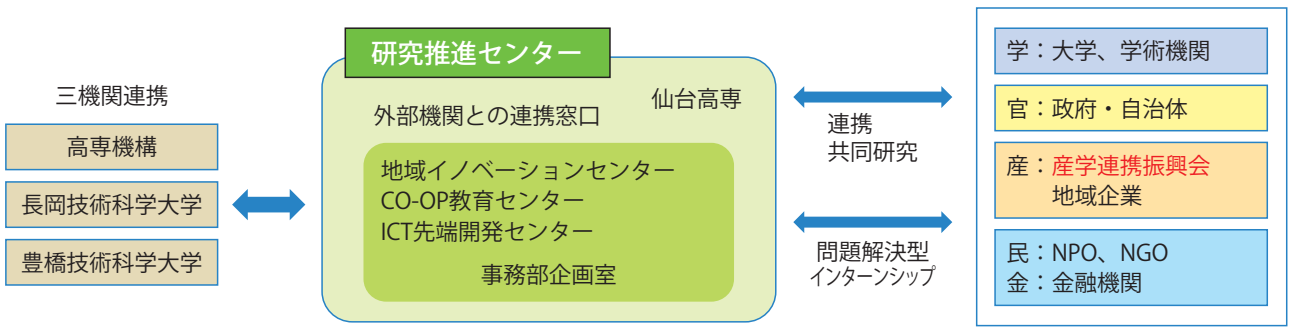
※CO-OP教育：Cooperative Education, 産学共同教育
※エンジニアリング・デザイン：基礎科学等の学習成果を集約し、現実的な条件の範囲内で、ニーズに合ったシステム、方法等を開発する創造的なプロセス
（日本技術者教育認定機構HPより抜粋）

■ICT先端開発センター（広瀬キャンパス）
（センター長：菅谷純一）

本センターは、ハードウェア、ソフトウェア設計技術者を育成する組込み系ディジタルシステム開発部門と、地域のICT企業在籍の社会人あるいは求職者のネットワーキング技術のスキルアップを支援するネットワーキングスキル開発部門及び地域住民へのICT活用・教育支援活動や地域との相互連携によるキャリア開発・教育等を行うICTリエゾン教育部門の３部門により、情報伝達先端技術の開発と地域貢献を目指します。

※ICT：Information and Communication Technology（情報通信技術）

■研究推進センターと地域連携



■教員

研究推進センター

職名・学位／氏名	担当科目
研究推進センター長 教授　工学博士 遠　藤　智　明 (Endo Tomoaki)	専攻科

地域イノベーションセンター

職名・学位／氏名	担当科目
センター長(兼広瀬センター長) 教授　博士（工学） 林　　忠　之 (HAYASHI Tadayuki)	電子工学実験Ⅱ、電子機器設計基礎、 知能エレクトロニクス製作、技術英語、 工業所有権基礎、知能エレクトロニクス実験Ⅰ、 卒業研究、専攻研究、集積回路基礎
名取センター長 教授　博士（工学） 伊　藤　昌　彦 (ITO Masahiko)	機械システム工学科
名取センター 教授　工学博士 内　海　康　雄 (UTSUMI Yasuo)	建築環境工学Ⅰ、設備工学Ⅲ、安全と省エネルギー、 環境工学、経営工学、地球環境と都市、総合セミナー、 卒業研究、専攻研究、環境システムシミュレーション

CO-OP教育センター

職名・学位／氏名	担当科目
センター長 教授　博士（工学） 伊　藤　昌　彦 (ITO Masahiko)	機械システム工学科
特任教授　博士（工学） 櫻　井　　宏 (SAKURAI Hiroshi)	建築構造力学Ⅰ・Ⅱ、総合セミナー、卒業研究、 構造デザイン、専攻実験、専攻研究

ICT先端開発センター

職名・学位／氏名	担当科目
センター長 准教授　工学修士 菅　谷　純　一 (SUGAYA Junichi)	ディジタル技術基礎、ディジタル技術、 情報システム基礎実験、一般科学演習、 プロジェクト実習、技術者倫理、 情報システム実験Ⅰ、情報システム概論、卒業研究、 計測制御システム、専攻実験演習Ⅱ、専攻研究
教授　博士（情報科学） 千　葉　慎　二 (CHIBA Shinji)	情報ネットワーク実験Ⅰ・Ⅱ、 ネットワーキング技術Ⅰ、計算機アーキテクチャ、 組込みシステム、プロジェクト実習、卒業研究、 専攻研究、マイクロコンピータ基礎、 分析コンピューティングⅡ

「PBLによる組込み技術者の養成」国内シンポジウム

産学官連携フェアへの出展風景

図書館

平成27年４月１日現在

図書館は学習と情報提供の中心的役割を果たしています。工学系専門書や、小説・教養書・各種雑誌が並び、学生によく利用されています。また、蔵書目録の検索はパソコンを活用し、視聴覚資料なども利用できます。相互利用システムを利用して、本校にない資料についても迅速に取り寄せできます。

さらに、本校の教職員・学生のみならず、地域の方々にも開放しています。

■名取キャンパス図書館　蔵書数

種別／区分	図書冊数			
	和漢書(冊)	洋書(冊)	総計(冊)	分類別比率(%)
総記	3,009	266	3,275	4.19
哲学	3,521	367	3,888	4.97
歴史	4,898	171	5,069	6.48
社会科学	7,575	305	7,880	10.08
自然科学	12,777	1,339	14,116	18.05
工学	19,908	1,061	20,969	26.81
産業	916	9	925	1.18
芸術	4,936	159	5,095	6.51
言語	3,526	1,758	5,284	6.76
文学	10,785	919	11,704	14.97
計	71,851	6,354	78,205	100.00

■平成26年度利用状況

学生	年間利用者	１日平均
貸出者数	2,741人	11.3人
貸出冊数	5,474冊	22.5冊

教職員	年間利用者	１日平均
貸出者数	315人	1.3人
貸出冊数	764冊	3.1冊

入館者数	総学生数	開館日数
57,012人 （１日平均234.6人）	935人 （年間１人3.8回、5.9冊）	243日 （月平均20.3日）

■広瀬キャンパス図書館　蔵書数

種別／区分	図書冊数			
	和漢書(冊)	洋書(冊)	総計(冊)	分類別比率(%)
総記	7,014	341	7,355	10.28
哲学	2,370	69	2,439	3.41
歴史	4,781	75	4,856	6.79
社会科学	5,840	73	5,913	8.26
自然科学	13,159	1,894	15,053	21.04
工学	13,991	1,803	15,794	22.07
産業	1,183	26	1,209	1.69
芸術	3,055	60	3,115	4.35
言語	2,274	1,054	3,328	4.65
文学	12,155	344	12,499	17.47
計	65,822	5,739	71,561	100.00

■平成26年度利用状況

学生	年間利用者	１日平均
貸出者数	1,901人	8.1人
貸出冊数	3,627冊	15.4冊

教職員	年間利用者	１日平均
貸出者数	210人	0.9人
貸出冊数	573冊	2.4冊

入館者数	総学生数	開館日数
15,760人 （１日平均67.1人）	651人 （年間１人2.8回、5.6冊）	235日 （月平均19.6日）

開架書庫（名取）

閲覧室（広瀬）

閲覧室（名取）

情報基盤センター

名取キャンパス

技術者には情報機器を駆使して問題を解決する能力が要求されています。情報基盤センターには最新の高速サーバと情報端末パソコンが整備され、高度情報化社会に対応する情報技術教育、研究に応えられる施設として設置されました。

情報技術教育用として演習システムが整備されており、授業以外でも自習室や図書館からキャンパス情報ネットワーク経由で利用することができるようになっています。情報端末パソコンは使用目的に応じてLinuxとWindowsから選んで利用することができます。ワープロ、表計算、データベース、プレゼンテーション、ペイント、ドローの各ソフトも最新のものがインストールしてあり、情報処理の授業等でこれらの機器・ソフトウェアを利用し、情報交換や情報処理等のコンピュータ技能を高めることができます。また、FortranやC++のプログラム開発環境も導入されており、準学士課程や専攻科課程の研究にも利用されています。

キャンパス情報ネットワークは情報基盤センターを中枢としてキャンパス内全域をギガビットイーサネットで結び、東北学術研究インターネットコミュニティ経由でインターネットに接続されています。学生、教職員は各自メールアカウントを持ち、電子メールやWorld Wide Webなどを利用してレポート作成や国内外との情報交換、情報発信、業務連絡に利用しています。情報基盤センターには各種サーバ、ネットワーク機器、管理装置が設置されており、学術情報及び世界の情報資源へのアクセスを提供しています。

広瀬キャンパス

情報基盤センターは、広瀬キャンパス内のキャンパスネットワーク及び教育用コンピュータシステムの運用管理、学内の情報基盤に関する技術支援を主な業務としています。

広瀬キャンパス内には千台を超えるコンピュータが設置されており、それらがキャンパスネットワークに接続されています。キャンパスネットワークやインターネットを快適かつ安全・安心して利用できるようにするため、統合認証システム、Webプロキシ、コンテンツフィルタ、アンチウィルス、ファイアウォールなどの装置類を配備し、Webや電子メールのサービスを提供しています。

教育用コンピュータシステムはキャンパス内４か所に分散設置されており、それぞれ50人程度のユーザが同時に利用できる環境となっています。いずれもパソコンをベースとしたシステムですが、２セットはWindowsとLinuxを選択起動できるシステム、１セットはLinux専用システム、もう１セットはWindows専用システムでシングルボードマイコンの実習も可能なシステムとなっています。

情報基盤センター

創造教育センター（名取キャンパス）

鉛筆で描かれた線の中心をはずさないように、くり小刀で丁寧に木を削り、やがて木型ができあがる。木型は砂に込められ鋳型ができる。誘導溶解炉の炉内で溶解した鉄をとりべに受け、静かに、鋳型に流し込むと鋳物ができる。橙色に熱せられた鋼をアンビルの上でたたいて形を変える。溶接棒の先端に発する閃光は、溶接面の向こうで、２枚の鉄片を１枚の板に変える。金属で金属を削る。

はるか昔から人間が獲得してきた技術を実習することにより、長く深い技術の歴史や人間の「英知」を知る。伝えられた「英知」は学生の感性を豊かにし、新たなことに「挑戦」するためのエネルギーとなる。

教育と研究のための肥沃な大地、ロボットコンテストのロボットの揺りかご、技術と科学のための工房、仙台高専名取キャンパスの創造教育センターはそのような場です。

■施設と設備

機械仕上工房
精密旋盤
立てフライス盤
ラム型立てフライス盤
横フライス盤
平面研削盤
万能円筒研削盤
小型ホブ盤
高速帯鋸盤
卓上ボール盤
キー溝加工機
直立ボール盤
ラジアルボール盤
両頭グラインダ

NC加工室
高精度マシニングセンタ
マシニングセンタ
NC旋盤
CAMソフト

鍛造工房
ガス焚き回転加熱炉
エアハンマ
両頭グラインダ
ベルトグラインダ

板金工房
コンターマシン
スケヤシャー
高速砥石切断機
折り曲げ機
三本ロール曲げ機

溶接工房
交流アーク溶接機
ガス溶接器
TIG溶接機
CO_2アーク溶接機
スポット溶接機
エアプラズマ切断機

鋳造工房
高周波誘導溶解炉
定温乾燥機

木型工房
木工帯鋸盤
万能木工機
糸鋸盤
角のみ盤
卓上ボール盤

溶接実習

旋盤実習

鍛造実習

危険予知活動

創造教育棟（広瀬キャンパス）

創造教育棟

自主性を伸ばし、創造性豊かな人材を育成する新しい教育システムを推進する目的のために創造教育棟を平成15年度に設置しました。本棟では具体的に、

（1）学生の自主性を伸ばす「ものづくり」教育の充実
①「発想→調査→設計→製作→評価」の一連の流れの体験
②３次元の広い空間を利用した夢のある研究テーマの具体化
（2）組み込みシステム教育の充実
（3）情報通信技術（ICT）を活用した教育（語学演習、遠隔授業など）の強化

等々を推進していきます。

建物は３階建てで、１階は創造教育工房（広くて天井の高い創造空間で、ロボット製作をはじめ、電気自動車、飛行物体など、大型の創造物の製作等を行う）、語学情報演習室（コンピュータを活用した外国語演習、３D－CADによる設計・製図等を行う）、創造プロジェクト室（プログラミングコンテストなどの特定のプロジェクトを遂行したり、グループワークによるコンピュータ実習と工作作業等を行う）、及び管理室があります。

２階はコンピュータ演習室（マイクロコンピュータ及び組み込みシステムの授業、ｅラーニングによる自学自習等を行う）、及びLSI設計・評価室（LSI開発・設計の指導、回路設計に関わる技術指導・セミナー等を行う）があります。

３階はICTメディア室（遠隔会議システムを利用した遠隔授業、講演の遠隔配信等を行う）があります。

また、各階には明るく開放的なリフレッシュスペースがあり、学生の新鮮な創造力の発展に役立っています。

実験実習試作室（広瀬キャンパス）

実験実習試作室は、あらゆるものがマイコンで制御される時代の到来を予見し、メカトロニクス分野の教育充実のために、およそ30年前に設置されました。

当施設は、加工技術の訓練実習のためではなく、学生や教員が作りたいものを、自ら作るための施設で、本校の歴史あるPBL教育やAL教育に活用されてきました。

独創的な教育・研究は、教材や実験装置を独自に製作することに始まるといえます。実験実習試作室には、一般工作機械はもとより、最新の３Ｄ CAD／CAM、高精度NC工作機械、さらには、レーザー加工機など最先端の加工設備を備え、ロボコンなどの学生の創造的な試作活動や、精密加工を必要とする教材や研究装置の試作・開発に利用されています。

主な設備は、旋盤、手動NC旋盤、ターニングセンタ、フライス盤、手動NCフライス盤、マシニングセンタ、高精密NCワイヤ放電加工機、デジタル溶接電源を備えた多関節型溶接ロボット、レーザー彫刻機、2.5kW炭酸ガスレーザー加工機、1.5kWファイバーレーザートーチを備えた大型ロボットシステム、これらの加工設備に加え、CNC三次元測定機、CNC画像測定機など精密測定設備も備えています。

電子デバイス試作室（広瀬キャンパス）

電子デバイス試作室は学生が設計したデバイスを実際に作成することを目的としています。そのために新しい電子材料の合成やデバイスを試作するプロセス技術の実習に必要な環境と装置類が準備されています。具体的には、デバイス試作の基本技術である酸化膜成長、フォトリソグラフィ、不純物拡散、光導波路形成、電極形成等の実習、実験を行います。

主な施設、設備は次のとおりです。

- クリーンルーム 面積94.00㎡ （８号棟）
- クリーンベンチ、ドラフトチャンバー、マスクアライナー、超純水製造装置、光学顕微鏡、走査型顕微鏡、プローブ顕微鏡、超音波ボンダ、拡散炉、酸化炉、混合ガス流量制御装置、真空蒸着装置、スパッタ蒸着装置、プリント基盤回路作成実習システム、素材表面・界面解析システム

実験実習試作室　1.5kWファイバーレーザートーチ・ロボットシステム

電子デバイス試作室　素材表面界面解析システム

定員及び現員

平成27年４月１日現在

（単位：人）

■準学士課程

学科	入学定員	現員 第１学年	第２学年	第３学年	第４学年	第５学年	計
機械システム工学科	40	42 (3)	42 (1)	45 (3) [1]	46 (3) [1]	38 (3)	213 (13) [2]
電気システム工学科	40	42 (4)	43 (2)	48 (1) [1] 〈1〉	38 (3)	42 (3)	213 (13) [1] 〈1〉
マテリアル環境工学科	40	42 (10)	41 (9)	46 (10)	40 (10) [1]	39 (19)	208 (58) [1]
建築デザイン学科	40	42 (15)	44 (20)	40 (11) [1]	44 (12) [1]	38 (9)	208 (67) [2]
知能エレクトロニクス工学科	40	42 (5)	42 (6)	39 (4)	38 (6) [1]	39 (3)	200 (24) [1]
情報システム工学科	40	42 (5)	44 (8)	43 (4) [1]	38 (6) [2]	39 (5)	206 (28) [3]
情報ネットワーク工学科	40	45 (11)	41 (14)	32 (4) [1]	37 (10)	36 (9) 〈1〉	191 (48) [1] 〈1〉
計	280	297 (53)	297 (60)	293 (37) [5] 〈1〉	281 (50) [6]	271 (51) 〈1〉	1439 (251) [11] 〈2〉

（ ）内は女子学生、[ ] は男子留学生、〈 〉は女子留学生でいずれも内数である。
※上記以外に旧学科（平成21年度以前入学）で情報デザイン学科１名が在籍している。

■専攻科

学科	入学定員	現員 第１学年	第２学年	計
生産システムデザイン学専攻	40	44 (8)	48 (8)	92 (16)
情報電子システム工学専攻	30	29 (3)	33	62 (3)
計	70	73 (11)	81 (8)	154 (19)

（ ）内は女子学生で内数である。

奨学生数（平成26年度実績）

（単位：人）

■準学士課程

	第１学年	第２学年	第３学年	第４学年	第５学年	計
学生数	302	285	291	285	261	1424
日本学生支援機構	16	23	22	39	37	137
その他の奨学会	13	21	21	15	18	88
学生数に対する比率（%）	9.6	15.44	14.78	18.95	21.07	15.8

■専攻科

	第１学年	第２学年	計
学生数	75	88	163
日本学生支援機構	18	19	37
その他の奨学会	3	5	8
学生数に対する比率（%）	28	27.27	27.61

出身地別在学者数

平成27年４月１日現在

区分	１年	２年	３年	４年	５年	計
宮城県						
仙台市	145 (24)	137 (23)	123 (16)	112 (22)	103 (19)	620 (104)
名取市	32 (5)	19 (2)	21 (3)	15 (1)	23 (4)	110 (15)
岩沼市	13 (1)	13 (1)	6 (2)	10 (2)	8 (2)	50 (8)
塩竈市	6 (1)	4 (0)	5 (1)	8 (2)	7 (0)	30 (4)
多賀城市	10 (1)	9 (4)	13 (2)	13 (3)	7 (1)	52 (11)
白石市	2 (1)	3 (0)	6 (0)	2 (0)	7 (1)	20 (2)
石巻市	4 (1)	12 (3)	2 (0)	8 (1)	8 (2)	34 (7)
気仙沼市	0 (0)	1 (0)	4 (0)	0 (0)	2 (0)	7 (0)
角田市	2 (1)	3 (1)	3 (0)	3 (0)	1 (0)	12 (2)
登米市	2 (0)	3 (1)	2 (0)	2 (0)	3 (2)	12 (3)
栗原市	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	4 (0)
東松島市	0 (0)	2 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	6 (0)
大崎市	2 (0)	4 (2)	3 (0)	2 (0)	7 (1)	18 (3)
宮城郡	5 (0)	8 (1)	13 (0)	13 (1)	14 (3)	53 (5)
亘理郡	3 (1)	7 (2)	10 (1)	7 (3)	7 (2)	34 (9)
柴田郡	8 (3)	11 (4)	12 (1)	8 (0)	14 (2)	53 (10)
刈田郡	2 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (0)
伊具郡	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	3 (0)
黒川郡	5 (1)	4 (1)	8 (2)	0 (0)	2 (1)	19 (5)
加美郡	1 (0)	3 (1)	1 (0)	5 (1)	0 (0)	10 (2)
遠田郡	1 (0)	5 (0)	2 (0)	4 (0)	2 (0)	14 (0)
本吉郡	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)
県内計	243 (40)	249 (46)	239 (28)	216 (36)	220 (40)	1,167 (190)
県　外						
北海道	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)
青森県	1 (1)	3 (3)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	8 (4)
岩手県	6 (2)	5 (2)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (4)
秋田県	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
山形県	16 (4)	17 (3)	14 (3)	14 (2)	16 (3)	77 (15)
福島県	30 (5)	20 (6)	27 (5)	40 (11)	32 (7)	149 (34)
茨城県	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
栃木県	1 (1)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (1)
埼玉県	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
新潟県	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)
神奈川県	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	2 (1)
愛知県	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
ドイツ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
県外計	54 (13)	48 (14)	48 (8)	59 (14)	51 (10)	260 (59)
合計	297 (53)	297 (60)	287 (36)	275 (50)	271 (50)	1,427 (249)
県内%	81.8	83.8	83.3	78.5	81.2	81.8
県外%	18.2	16.2	16.7	21.5	18.8	18.2
留学生						
カンボジア			1 (0)			1 (0)
インドネシア				2 (0)		2 (0)
ラオス				1 (0)		1 (0)
マレーシア			3 (1)	2 (0)		5 (1)
モンゴル			2 (0)	1 (0)	1 (1)	4 (1)
小　計	0 (0)	0 (0)	6 (1)	6 (0)	1 (1)	13 (2)
総　計	297 (53)	297 (60)	293 (37)	281 (50)	272 (51)	1,440 (251)

（ ）内は女子学生で内数である。

編入学試験実施状況

	平成27年度			平成26年度			平成25年度		
	志願者数	受検者数	合格者数	志願者数	受検者数	合格者数	志願者数	受検者数	合格者数
機械システム工学科	2	2	2	0	0	0	1	1	1
電気システム工学科	0	0	0	2	2	2	0	0	0
マテリアル環境工学科	0	0	0	1	1	1	0	0	0
建築デザイン学科	1	1	1	0	0	0	1	0	0
知能エレクトロニクス工学科	1	1	1	2	2	0	2	1	1
情報システム工学科	2	2	1	3	3	1	2	2	2
情報ネットワーク工学科	2	2	1	0	0	0	1	1	1

〔 〕は旧学科、（ ）は推薦選抜の人数で内数

入学志願者数の状況

■仙台高等専門学校入学者選抜試験

	合計	機械システム工学科	電気システム工学科	マテリアル環境工学科	建築デザイン学科	知能エレクトロニクス工学科	情報システム工学科	情報ネットワーク工学科
平成27年度								
入学定員（a）	280	40	40	40	40	40	40	40
志願者数（b）	462	72	61	62	70	65	79	53
受検者数	451	69	60	61	69	63	78	51
合格者数	294	42	42	42	42	42	42	42
入学者数	293	42	42	42	42	42	42	41
倍率（b／a）	1.7	1.8	1.5	1.6	1.8	1.6	2.0	1.3
平成26年度								
入学定員（a）	280	40	40	40	40	40	40	40
志願者数（b）	507	69	67	65	72	72	94	68
受検者数	497	68	66	63	70	68	94	68
合格者数	294	42	42	42	42	42	42	42
入学者数	294	42	42	42	42	42	42	42
倍率（b／a）	1.8	1.7	1.7	1.6	1.8	1.8	2.4	1.7
平成25年度								
入学定員（a）	280	40	40	40	40	40	40	40
志願者数（b）	506	83	66	71	90	77	66	53
受検者数	497	82	65	71	87	76	64	52
合格者数	294	42	42	42	42	42	42	42
入学者数	293	42	42	42	42	41	42	42
倍率（b／a）	1.8	2.1	1.7	1.8	2.3	1.9	1.7	1.3
平成24年度								
入学定員（a）	280	40	40	40	40	40	40	40
志願者数（b）	479	97	62	56	70	61	76	57
受検者数	472	94	62	56	70	61	74	55
合格者数	293	42	42	42	41	42	42	42
入学者数	289	41	42	42	41	41	42	40
倍率（b／a）	1.7	2.4	1.6	1.4	1.8	1.5	1.9	1.4

第２志望以下の学科に合格した者については、当該学科として計上

■専攻科入学者選抜試験

		定員	生産システムデザイン工学専攻						定員	情報電子システム工学専攻					
			志願者数（人）			合格者数（人）				志願者数（人）			合格者数（人）		
			男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計
平成27年度	推薦	20	25	6	31	25	6	31	15	16	3	19	14	3	17
	学力	20	37	5	42	21	4	25	15	24	1	25	21	1	22
	社会人	若干人	0	0	0	0	0	0	若干人	0	0	0	0	0	0
	合計		62	11	73	46	10	56		40	4	44	35	4	39
平成26年度	推薦	20	27	9	36	24	8	32	15	16	0	16	14	0	14
	学力	20	34	6	40	19	3	22	15	40	4	44	27	2	29
	社会人	若干人	0	0	0	0	0	0	若干人	0	0	0	0	0	0
	合計		61	15	76	43	11	54	合計	56	4	60	41	2	43
平成25年度	推薦	20	20	6	26	20	6	26	15	23	1	24	20	1	21
	学力	20	32	9	41	23	4	27	15	44	1	45	23	1	24
	社会人	若干人	0	0	0	0	0	0	若干人	0	0	0	0	0	0
	合計		52	15	67	43	10	53	合計	67	2	69	43	2	45
平成24年度	推薦	20	19	7	26	19	7	26	15	20	4	24	18	3	21
	学力	20	35	7	42	27	6	33	15	39	4	43	24	2	26
	社会人	若干人	0	0	0	0	0	0	若干人	0	0	0	0	0	0
	合計		54	14	68	46	13	59	合計	59	8	67	42	5	47

卒業生の進路状況

■大学編入学等状況【平成26年度】

大　学　名	人数
北海道大学	3
岩手大学	2
東北大学	2
秋田大学	1
福島大学	2
筑波大学	2
宇都宮大学	2
千葉大学	2
東京大学	2

大　学　名	人数
東京農工大学	1
東京工業大学	2
新潟大学	4
長岡技術科学大学	11
豊橋技術科学大学	11
大阪大学	2
工学院大学	1
仙台高等専門学校専攻科	73
合　計	123

企業説明会

■大学院進学状況【平成26年度】

大　学　院　名	人数
東北大学大学院工学研究科	8(1)
東北大学大学院情報科学研究科	2
東北大学大学院環境科学研究科	1
東北大学大学院医工学研究科	1
筑波大学大学院システム情報工学研究科	2
筑波大学大学院数理物質科学研究科	1
横浜国立大学大学院工学府・研究科	1

大　学　院　名	人数
豊橋技術科学大学大学院電気・電子情報工学専攻	1
北陸先端科学技術大学院大学マテリアルサイエンス研究科	1
北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科	1
合　計	19(1)

（　）内は女子学生で内数である。

企業見学

平成26年度就職状況

名取キャンパス

■産業別就職状況

	機械システム工学科	電気システム工学科	マテリアル建築学科	建築デザイン学科	計	専攻科	合　計
■建設業		3		16 (4)	19 (4)	3	22 (4)
■製造業							
食料品・飲料・たばこ・飼料	1	2			3	1	4
繊維工業			1		1		1
印刷・同関連業			1		1	1 (1)	2 (1)
化学工業・石油・石炭製品	4	3	4 (1)		11 (1)		11 (11)
鉄鋼業、非鉄金属・金属製品	1		2	1	3		3
はん用・生産用・業務用機械器具	2		1		4	8 (1)	12 (1)
電子部品・デバイス			1 (1)		1 (1)		1 (1)
電気・情報通信機械器具	3	4 (1)	1		8 (1)	2	10 (1)
輸送用機械器具	1				1	1	2
その他	2		2		4	1	5
■電気・ガス・熱供給・水道業		3		1 (1)	4 (1)	2	6 (1)
■情報通信業		3 (1)			3 (1)	5 (2)	8 (3)
■運輸業・郵便業						1 (1)	1 (1)
■卸売・小売業	1	1	2 (1)		4 (1)	1 (1)	5 (2)
■金融・保険業							
■不動産業							
■学術研究、専門・技術サービス業							
学術・開発研究機関							
その他の専門・技術サービス業							
■教育、学習支援業			1 (1)		1 (1)		1 (1)
■医療、福祉							
■複合サービス事業							
■サービス業	1	4 (1)	1 (1)	2 (2)	8 (4)	1 (1)	9 (5)
■公務							
国家公務	1						
地方公務					1		1
■その他							
合　計	17	23 (3)	17 (5)	20 (7)	77 (15)	27 (7)	104 (22)

（　）内は女子学生で内数である。

■所在地区別就職状況

	機械システム工学科	電気システム工学科	マテリアル建築学科	建築デザイン学科	計	専攻科	合　計
東北地区	5	7 (1)	3 (1)	4 (2)	19 (4)	3	22 (4)
関東地区	10	14 (1)	12 (4)	15 (5)	51 (10)	19 (6)	70 (16)
その他	2	2 (1)	2	1	7 (1)	5 (1)	12 (2)
合　計	17	23 (3)	17 (5)	20 (7)	77 (15)	27 (7)	104 (22)

■就職先一覧

【本　　科】

㈱アート・システム
アイリスオーヤマ㈱
アイワビルド㈱
ALSOK岩手㈱
㈱安藤・間
出光興産㈱　千葉製油所
㈱エイアンドティー
㈱エヌ・ティ・ティ　エムイー
大阪ガス㈱
花王㈱
㈱かわでん
㈱きんでん
草野建築
㈱建築工房零
㈱鴻池組
COM電子開発㈱
サッポロビール㈱　仙台工場
サントリー酒類㈱
GEヘルスケア・ジャパン㈱
ＪＸ日鉱日石エネルギー㈱鹿島製油所
ＪＸ日鉱日石エネルギー㈱仙台製油所
ＪＳＲ㈱鹿島工場
清水建設㈱
昭和電工㈱　川崎事業所
新日本空調㈱
セイコーエプソン㈱
仙台市職員
㈱船場
SOLIZE Engineering㈱
ダイキンエアテクノ㈱
高砂熱学工業㈱
タカラスタンダード㈱
田中電子工業㈱
東京ガス㈱
東芝エレベータ㈱
東芝三菱電機産業システム㈱
東燃ゼネラル石油㈱
東プレ㈱
東北交通機械㈱
東北電力㈱
東北特殊鋼㈱
東洋インキSCホールディングス㈱
東レ㈱
戸田建設㈱
㈱トノックス
㈱中里工務店
ニッカウヰスキー㈱　仙台工場
日本電子㈱
日本電設工業㈱
日本ファインセラミックス㈱
㈱日立ビルシステム
富士ゼロックス東京㈱
フジテック㈱
㈱舞浜ビルメンテナンス
㈱牧野フライス製作所
三井住友建設㈱
三菱重工環境・化学エンジニアリング㈱
三菱重工業㈱　汎用機・特車事業本部
三菱重工業㈱　名古屋航空宇宙システム製作所
三菱電機ビルテクノサービス㈱
宮城ヤンマー㈱
メタウォーター㈱
㈱ヤクルト本社富士裾野医薬品工場
矢崎総業㈱
㈱横河ブリッジホールディングス
㈱リーブルテック

【専 攻 科】

㈱IHI検査計測
㈱泉パークタウンサービス
NECフィールディング㈱
NOK㈱
㈱エヌ・ティ・ティ　エムイー
㈱廣済堂
㈱小松製作所小山工場
㈱ジャムコ
セコム工業㈱
相馬共同火力発電㈱
㈱竹中工務店
DMG森精機㈱
テルモ㈱
東京ガス㈱
日本精工㈱
日本ハム食品㈱
日本鉄道電気設計㈱
日本ビソー㈱
㈱ハーモニック・ドライブ・システムズ
東日本旅客鉄道㈱
富士ゼロックス東京㈱
㈱富士通システムズ・イースト
㈱富士通ディフェンスシステムエンジニアリング
富士電機㈱
㈱牧野フライス製作所
三菱重工業㈱　名古屋航空宇宙システム製作所
ヤマトシステム開発㈱

■求人及び就職状況

	機械システム工学科	電気システム工学科	マテリアル建築学科	建築デザイン学科	計	専攻科	合計
卒業・修了者数	42	37	42	41	162	42	204
進学その他	25	14	25	21	85	15	100
就職者数	17	23	17	20	77	27	104
求人企業	428	430	202	234	1,294	503	1,797
求人数	428	430	202	234	1,294	503	1,797

広瀬キャンパス

■産業別就職状況

	知能エレクトロニクス工学科	情報システム工学科	情報ネットワーク工学科	計	専攻科	合　計
■建設業						
■製造業						
食料品・飲料・たばこ・飼料						
繊維工業						
印刷・同関連業						
化学工業・石油・石炭製品						
鉄鋼業、非鉄金属・金属製品						
精密機械器具	1			1	1	2
一般機械		1		1		1
電気・情報通信機械器具						
輸送用機械器具	2			2		2
その他	1	4 (2)	1	6 (2)	1	7 (2)
■電気・ガス・熱供給・水道業	3	2	3 (1)	8 (1)		8 (1)
■情報通信業	2 (1)	6 (4)	13 (2)	21 (7)	14 (1)	35 (8)
■運輸業・郵便業		1		1		1
■卸売・小売業						
■金融・保険業						
■不動産業						
■学術研究、専門・技術サービス業						
学術・開発研究機関						
その他の専門・技術サービス業	3	4	3	10	5	15
■教育、学習支援業						
■医療、福祉						
■複合サービス事業						
■フードサービス業					1 (1)	1 (1)
■公務						
国家公務			1 (1)	1 (1)		1 (1)
地方公務						
合　計	12 (1)	18 (6)	21 (4)	51 (11)	22 (2)	73 (13)

（　）内は女子学生で内数である。

■所在地区別就職状況

	知能エレクトロニクス工学科	情報システム工学科	情報ネットワーク工学科	計	専攻科	合　計
東北地区	2	2	2	6	2	8
関東地区	9	13	14	36	18	54
その他	1	3	5	9	2	11
合　計	12	18	21	51	22	73

■就職先一覧

【本　　科】

富士重工業㈱
トヨタ自動車東日本㈱
東芝エレベータ㈱
日立交通テクノロジー㈱
日立アロカメディカル㈱
リコーテクノシステムズ㈱
㈱東海理化 電機製作所
㈱コナミデジタルエンタテインメント
NOK㈱
パナソニック システムネットワークス㈱
東北電力㈱
東京電力㈱
中部電力㈱
東京ガス㈱
大阪ガス㈱
東北放送㈱
㈱NHKアイテック
㈱TTK
CTCシステムマネジメント㈱
KDDIエンジニアリング㈱
㈱NTT-ME
㈱ハイマックス
NECフィールディング㈱
京セラコミュニケーションシステム㈱
㈱協和エクシオ
㈱日立情報通信エンジニアリング
㈱モバイルファクトリー
㈱DMM.com
NTTコム ソリューション&エンジニアリング㈱
㈱KSF
バイスリープロジェクツ㈱
エックスサーバー㈱
㈱システマレーテ
㈱アルフ
㈱プロトリオス
東杜シーテック㈱
㈱ミライト
㈱TBSテックス
㈱平プロモート
防衛省・航空自衛隊

【専 攻 科】

東京エレクトロン宮城㈱
㈱中央エンジニアリング
NHK
アイシン・コムクルーズ㈱
㈱ミライト
NECソリューションイノベータ㈱
㈱エヌ・ティ・ティ・データ
㈱NHKアイテック
㈱日立アドバンストシステムズ
マネージメントサービス㈱
㈱富士通エフサス
㈱メンバーズ
東北インテリジェント通信㈱
NECネッツエスアイ㈱
三菱電機ビルテクノサービス㈱
㈱アルプス技研
ディーピーティー㈱
㈱富士通ミッションクリティカルシステムズ
応用リソースマネージメント㈱
㈱サイゼリヤ

■求人及び就職状況

	知能エレクトロニクス工学科	情報システム工学科	情報ネットワーク工学科	計	専攻科	合計
卒業・修了者数	31	38	26	95	36	131
進学その他	19	20	5	44	14	58
就職者数	12	18	21	51	22	73
求人企業	520				322	842
求人数	623				349	972

学校行事

仙台高専では年間を通じおおよそ次のような行事があります。

4月	入学式 実力試験 定期健康診断
5月	スポーツ大会 第３学年校外研修（名取キャンパス）
6月	宮城県高校総体 第２学年校外研修（広瀬キャンパス） 前期中間試験
7月	東北地区高専体育大会 オープンキャンパス
8月	夏季休業 全国高専体育大会
9月	前期期末試験 TOEIC試験（名取キャンパス） 秋季スポーツ大会（広瀬キャンパス）
10月	TOEIC-IP試験（広瀬キャンパス第３～５学年） 第３学年校外研修（広瀬キャンパス） ロボットコンテスト東北地区大会 プログラミングコンテスト 高専祭
11月	第４学年研修旅行 デザインコンペティション ロボットコンテスト全国大会
12月	後期中間試験 吹奏楽部定期演奏会（広瀬キャンパス） ブラスバンドコンサート（名取キャンパス） 高専女子フォーラム in 東北 冬季休業
1月	第３学年学習到達度試験 TOEIC試験（広瀬キャンパス第１～２学年）
2月	後期期末試験 第５学年卒業研究発表
3月	卒業式 学年末休業

入学式

スポーツ大会

高専体育大会

オープンキャンパス

ロボットコンテスト

高専祭

第４学年研修旅行

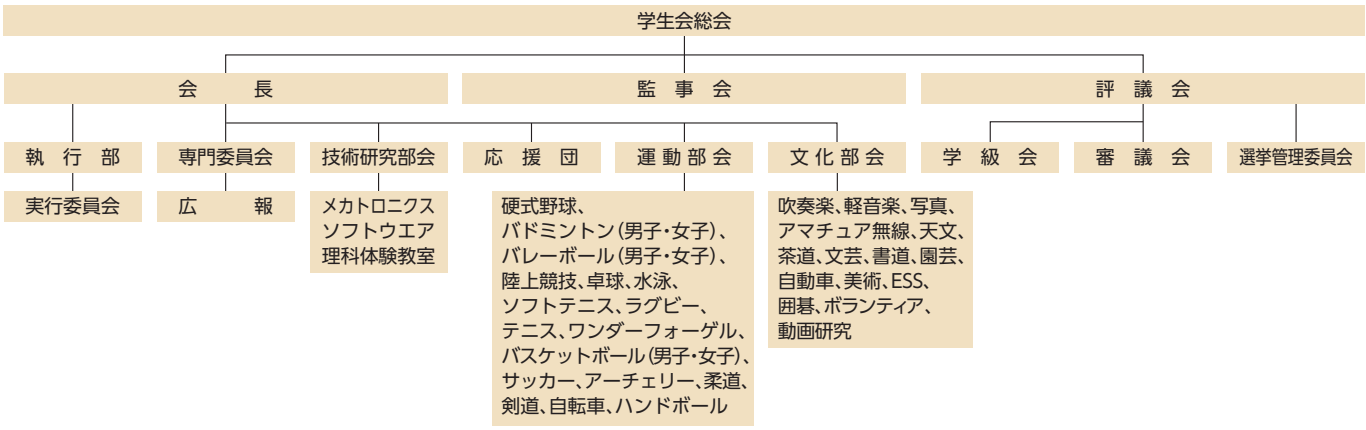
卒業研究発表

卒業式

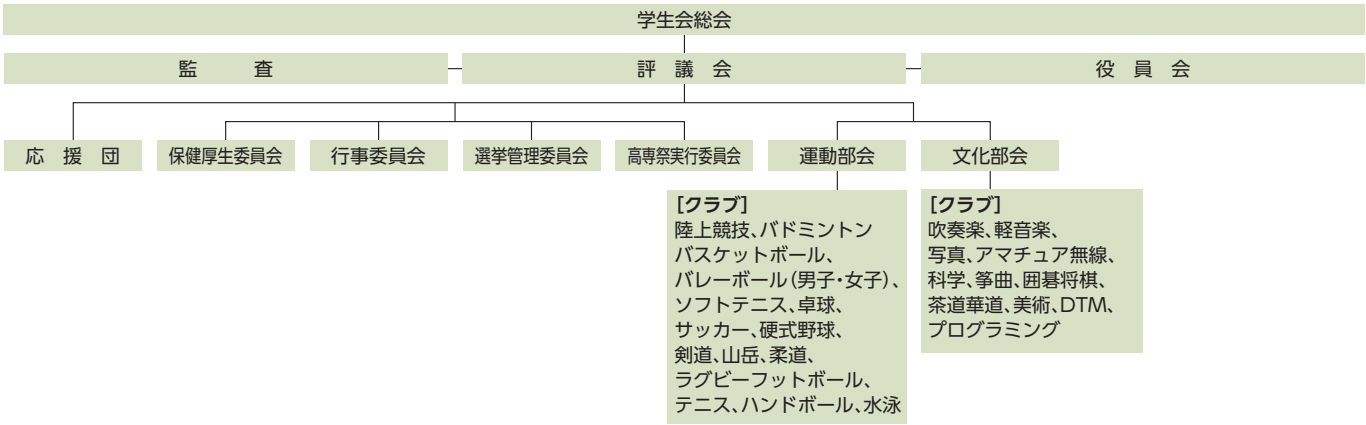
課外活動

学生会は学生全員で構成される組織で、執行部、評議会、技術研究部会、文化部会、運動部会、応援団などの組織からなります。クラブ活動のほかに、スポーツ大会、高専祭、他高専との親善交流など、多彩な行事を行っています。

◆名取キャンパス



◆広瀬キャンパス



剣道部

アーチェリー部

バドミントン部

サッカー部

柔道部

吹奏楽部

硬式野球部

箏曲部

アマチュア無線部

陸上競技部

学寮

萩花寮（名取キャンパス）

名取キャンパス萩花寮の定員は219人（男子166人、女子53人）で南寮、北寮、東寮、女子寮及び西寮の５棟があり、居室には学習机、椅子、ロッカー及びベッド等が備え付けられ、２人部屋と１人部屋があります。

また、各棟には共同使用の談話室、補食室、シャワー室等もあり、別棟には学習室、パソコン室、食堂、浴室等が完備されています。

■寮生数

（単位：人）

	機械システム工学科	電気システム工学科	マテリアル環境工学科	建築デザイン学科	合　計
第１学年	8	7	9（ 4）	10（ 6）	34（10）
第２学年	9	8	6（ 1）	18（11）	41（12）
第３学年	10　［1］	10（1）［2］	4（ 1）	9（ 4）［1］	33（ 6）［4］
第４学年	10　［1］	4	6（ 2）［1］	11（ 4）［1］	31（ 6）［3］
第５学年	4	11	7（ 4）	8（ 2）	30（ 6）
計	41　［2］	40（1）［2］	32（12）［1］	56（27）［2］	169（40）［7］

（ ）内は女子学生で内数である。［ ］内は留学生で内数である。

■学寮の行事

４月	新入寮生歓迎夕食会
７月	寮祭
10月	野外食
12月	クリスマス会
２月	予餞会・卒寮生テーブルマナー講習会

萩花寮（名取キャンパス）

萩花寮　クリスマス会

松韻寮（広瀬キャンパス）

広瀬キャンパス松韻寮の定員は182人（男子寮132人、女子寮50人）で、男子寮（北寮）、女子寮及び南寮の３つの建物が食堂を中心に配置されています。南寮には留学生、海外からの研修生、専攻科生が入居しています。

また、３棟は学校と隣接しているので、研究や実験、クラブ活動に打ち込む寮生が多くなっています。

■寮生数

（単位：人）

	知能エレクトロニクス工学科	情報システム工学科	情報ネットワーク工学科	専攻科	合　計
第１学年	12（1）	8（1）	6（ 1）	2	28（ 3）
第２学年	8（1）	11（3）	8（ 3）	2	29（ 7）
第３学年	7（1）	5　［1］	5（ 1）［1］		17（ 2）［2］
第４学年	7（1）［1］	9　［2］	8（ 4）		24（ 5）［3］
第５学年	12（1）	7（3）	8（ 1）［1］		27（ 5）［1］
計	46（5）［1］	40（7）［3］	35（10）［2］	4	125（22）［6］

（ ）内は女子学生で内数である。［ ］内は留学生で内数である。

■学寮の行事

４月中旬	新寮生歓迎会
７月中旬	夏祭り
12月中旬	冬祭り
２月上旬	卒寮式・卒寮生夕食会

松韻寮（広瀬キャンパス）

松韻寮　夏祭り（BBQ）

学生相談室

学生相談室は、学生の悩みを共に考え、問題解決のお手伝いをするために設置されているものです。学生相談室のスタッフは、定期的に来校するカウンセリングの専門家と、いつでも相談できる校内相談員です。なお、学生だけでなく、保護者からの学生に関する相談にも応じる体制を取っています。

名取キャンパス

相談員	相談時間
カウンセラー	月曜日　午前11時～午後５時 水曜日　午前11時～午後６時 木曜日　午前９時～午後５時 金曜日　午前９時～午後５時
校内相談員（７名）	随時

広瀬キャンパス

相談員	相談時間
カウンセラー	月曜日～金曜日 午前９時～午後５時 （木曜日は午後のみ）
校内相談員（６名）	随時

相談室

FD講演会

特別支援教育推進室

特別支援教育推進室は、発達障害者支援法に基づいて広瀬キャンパスに設けられた組織です。自閉症スペクトルなどの特徴を持つ学生に対して、教員による支援グループを結成して、学生の状態に応じて適切な支援を行うことを目指しています。

入口（カードキーで入室）

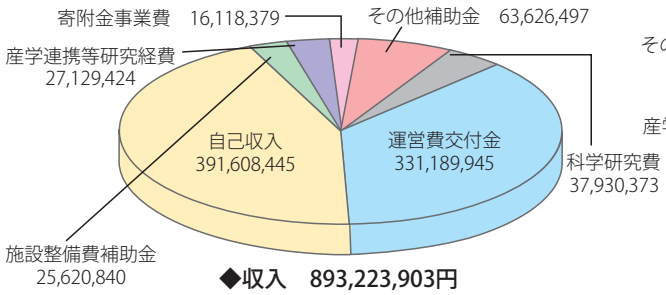
お茶も飲めます

カウンセリングのための空間

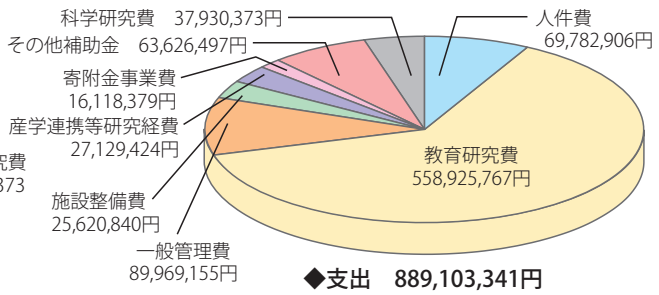
カウンセラーの先生（執務中）

収入・支出

■平成26年度収入・支出額（名取キャンパス・広瀬キャンパス合算）



◆収入　893,223,903円



◆支出　889,103,341円

土地・建物

■名取キャンパス

単位：m²

校舎敷地	学寮敷地	運動場敷地	その他	計	職員宿舎敷地
43,609	11,771	30,269	28,796	114,445	6,878

名　称	設置年度	構造	地上階	面積
建築・電気棟	1965	R	3	3,213
機械・マテリアル環境棟	1965	R	3	3,110
創造教育センター	1964	S	1	1,000
ボイラー室	1964	R	1	179
守衛室	1964	R	1	27
屋外便所	1966	B	1	9
倉庫	1964	R	1	90
体育館・器具入室	1966	S	1	1,205
東寮	1964	R	3	1,141
南寮	1965	R	3	1,095
寮管理棟	1965	R	1	583
学習室	1964	R	1	46
ポンプ設備室	1996	S	1	40
食品庫	1966	B	1	42
プール付属室	1966	B	1	51
準備室	1966	R	1	53
体育器具庫	1968	B	1	23
武道場	2012	S	1	354
西寮	1969	R	3	284
浴室	1969	R	1	120
防災実験室	1969	R	1	140
北寮	1969	R	4	989
創造教育センター	1970	S	1	96
屋外便所	1970	B	1	9
体育器具庫	1970	B	1	83
電子計算機室	1972	R	1	303
更衣室	1972	B	1	59
弓道場・アーチェリー場	1971	S	1	78
図書館	1973	R	2	1,688
図書館渡廊下	1973	R	2	36
合宿研修施設	1977	S	1	215
第２体育館	1978	S	1	882
創造教育センター	1978	S	2	400
簡易給水施設	1979	S	1	79
事務棟	1981	R	2	753
福利施設	1983	R	2	844
課外活動用器具庫	1983	B	1	111
女子寮	1988	R	3	610
車庫	1990	S	1	151
受変電室	1991	R	1	45
情報デザイン棟	1995	R	4	2,288
専攻科棟	1999	R	4	1,161
総合科学教育棟	1999	R	5	4,506
専門共同教育棟・地域イノベーションセンター	2000	R	4	1,751
課外活動用器具庫	2007	S	1	20

■広瀬キャンパス

単位：m²

校舎敷地	学寮敷地	運動場敷地	計
51,101	15,697	39,320	106,118

名　称	設置年度	構造	地上階	面積
１号棟（管理棟）	1974	RC	2	735
２号棟（図書館）	1974	RC	2	1,601
３号棟（研究実験棟）	1974	RC	4	2,799
４号棟（講義棟）	1974	RC	2	2,011
５号棟（電子計算機室）	1976	RC	1	306
６号棟（旧電子工学科棟）	1977	RC	2	788
６号棟（旧情報工学科棟）	1978	RC	3	1,722
７号棟（情報処理設計工作室）	1981	RC	2	786
８号棟（旧電子制御工学科棟）	1986	RC	4	2,850
９号棟（地域イノベーションセンター）	1994	RC	2	463
10号棟（専攻科研究実験棟）	1995	RC	3	939
11号棟（創造教育棟）	2003	RC	3	1,538
車庫	1974	RC	1	162
守衛室	1974	RC	1	29
プロパン格納庫	1974	RC	1	11
物品倉庫	1974	CB	1	183
書類倉庫	1974	W	2	116
第１体育館（含管理室）	1974	S	1	1,021
第２体育館（　〃　）	1983	S	1	893
武道館（柔剣道場）	1974	S	1	225
屋外運動場付属施設	1976	CB	1	159
部室	1974	S	1	228
倉庫	1974	S	1	40
合宿研修所	1978	RC	1	200
厚生会館	1985	RC	2	896
女子更衣室	1990	CB	1	33
南寮	1975	RC	5	1,905
北寮	1984	RC	5	3,025
女子寮	1982	RC	4	917
設備機械室	1974	RC	1	198

教育・研究等活動

外部資金受入状況（平成26年度）

■文部科学省等採択プロジェクト

研究種目	金額
大学等における地域復興のためのセンター的機能整備事業「東北地域の産業復興を行う技術者人材育成」	19,324
大学間連携共同教育推進事業「分野別到達目標に対するラーニングアウトカム評価による質保証」	16,112
大学教育再生加速プログラム テーマⅠ（アクティブ・ラーニング）	22,950
計	58,386

単位：千円

■科学研究費助成事業

研究種目	科学研究費補助金		学術研究助成基金助成金	
	件数	金額	件数	金額
基盤研究（B）				0
基盤研究（C）			17	19,907
挑戦的萌芽研究			4	4,290
若手研究（B）			6	5,460
奨励研究			3	1,500
計			30	31,157

単位：千円　間接経費含む

■共同研究

件数	金額
16	7,004

単位：千円　間接経費含む

■受託研究

件数	金額
9	16,000

単位：千円　間接経費含む

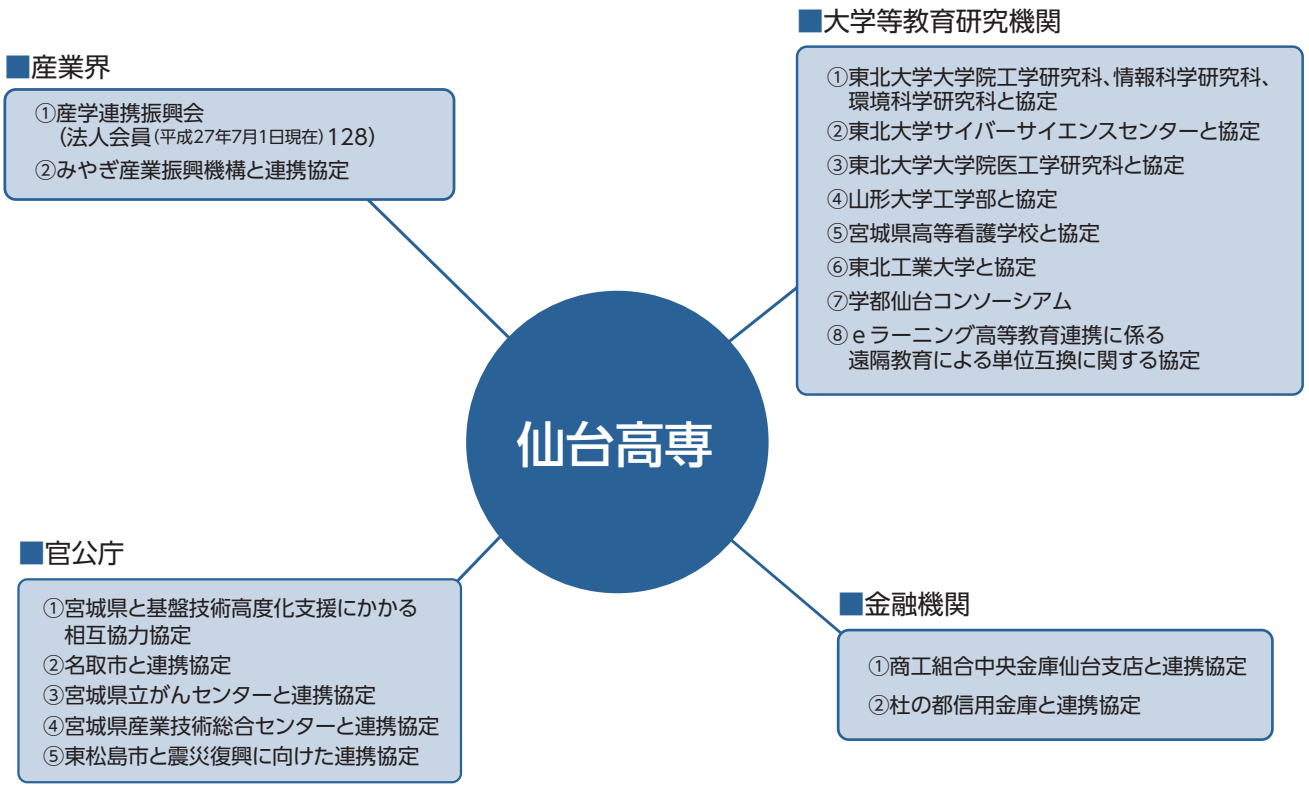
■寄附金

件数	金額
20	15,576

単位：千円

産学官金連携（協定）一覧

平成27年７月１日現在

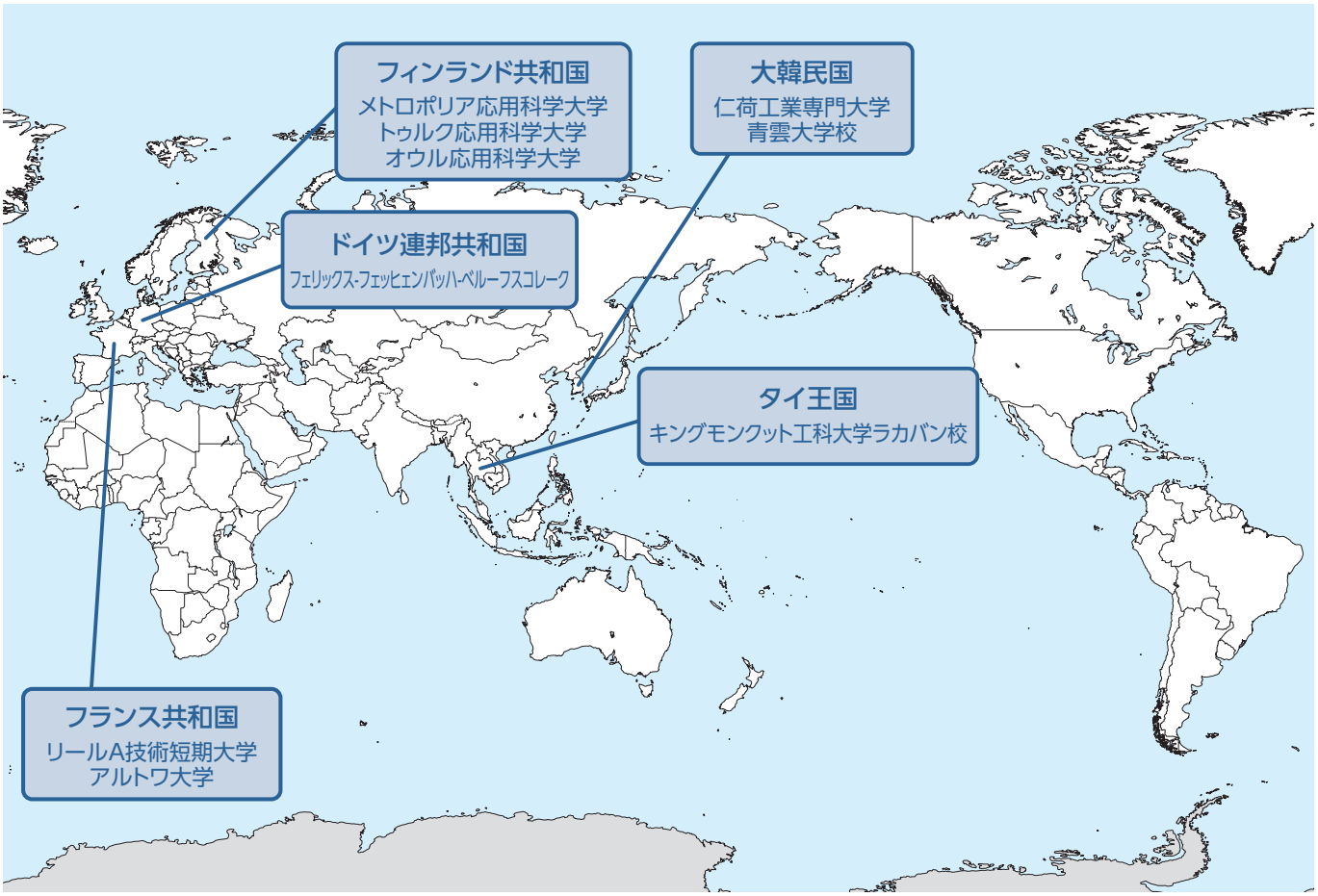


国際交流

平成27年５月１日現在

■学術交流協定締結校一覧

相手国	大学等名	協定締結年月日
大　韓　民　国	仁荷工業専門大学　INHA TECHNICAL COLLEGE	宮城高専　1991年10月29日 仙台高専　2009年10月１日
	青雲大学校　CHUNGWOON UNIVERSITY	宮城高専　2009年１月29日 仙台高専　2009年10月１日
フィンランド共和国	メトロポリア応用科学大学 HELSINKI METROPOLIA UNIVERSITY OF APPLIED SCIENCES	宮城高専　2002年３月26日 仙台電波高専　2006年９月11日 仙台高専　2009年10月１日
	トゥルク応用科学大学 TURKU UNIVERSITY OF APPLIED SCIENCES	仙台電波高専　2009年１月20日 仙台高専　2009年10月１日
	オウル応用科学大学 OULU UNIVERSITY OF APPLIED SCIENCES	仙台高専　2015年３月24日
ドイツ連邦共和国	フェリックス・フェッヒェンバッハ・ベルーフスコレーク FELIX-FECHENBACH-BERUFSKOLLEG	宮城高専　2003年３月18日 仙台高専　2009年10月１日
タ　イ　王　国	キングモンクット工科大学ラカバン校 KING MONGKUT'S INSTITUTE OF TECHNOLOGY LADKRABANG	仙台電波高専　2006年３月10日 仙台高専　2009年10月１日
フランス共和国	リールA技術短期大学 INSTITUT UNIVERSITAIRE DE TECHNOLOGIE 'A' De LILLE	仙台電波高専　2008年６月13日 仙台高専　2009年10月１日
	アルトワ大学（東北地区・函館高専包括協定） THE UNIVERSITE D' ARTOIS	仙台高専　2012年６月24日



国際学術活動

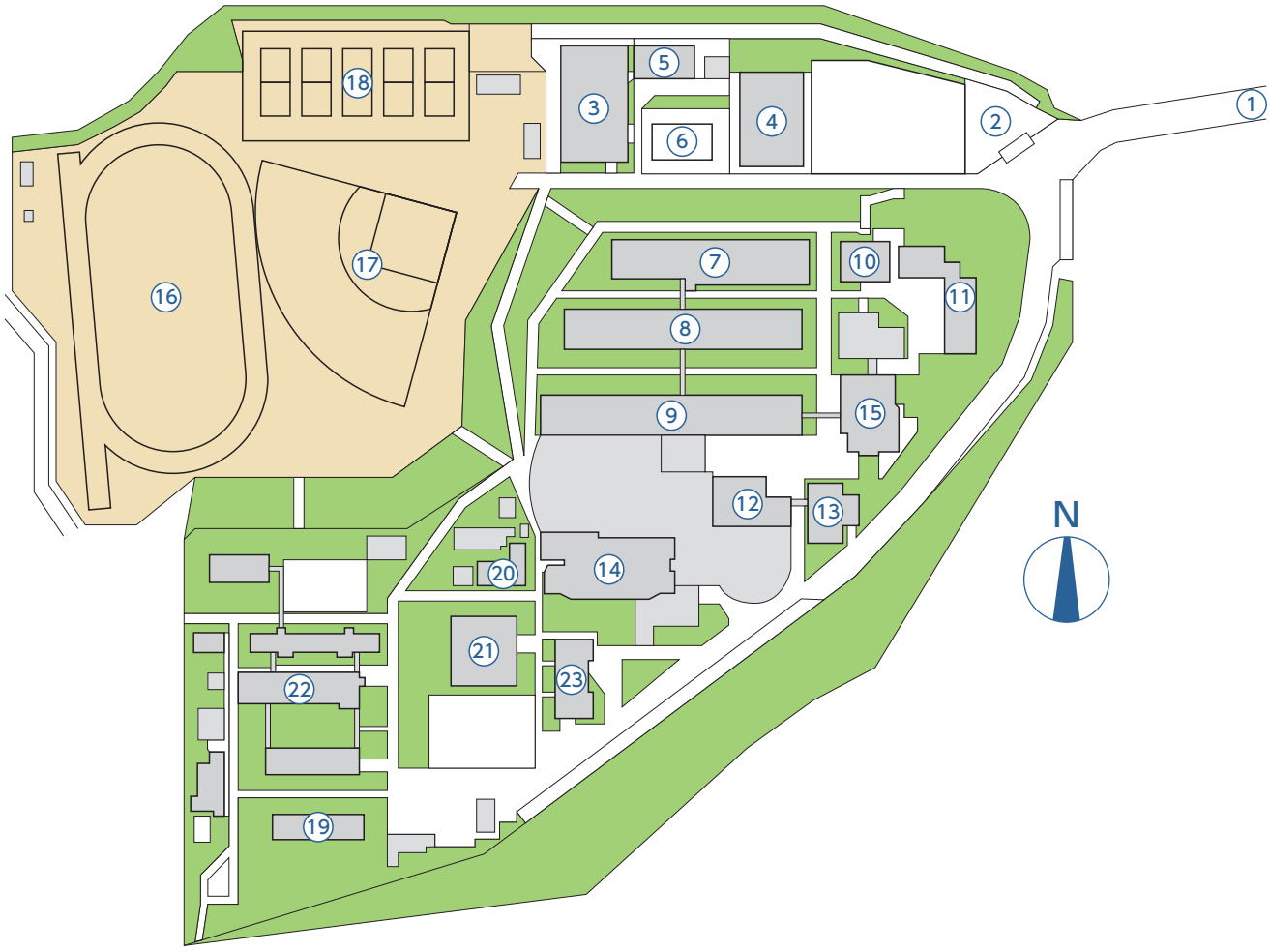
■学生交流実績（派遣期間　２週間～６ヶ月）

	大学等名	平成24年度	平成25年度	平成26年度
学生受入	キングモンクット工科大学ラカバン校（タイ王国）	14	16	12
	ヘルシンキメトロポリア応用科学大学（フィンランド共和国）	4	2	2
	トゥルク応用科学大学（フィンランド共和国）	4	5	7
	オウル応用科学大学（フィンランド共和国）	—	—	—
	リールA技術短期大学等（フランス共和国）	3	4	4
	フェリックス・フェッヒェンバッハ・ベルーフスコレーク（ドイツ連邦共和国）	—	10	10
	計	25	37	35
学生派遣	キングモンクット工科大学ラカバン校（タイ王国）	12	3	2
	ヘルシンキメトロポリア応用科学大学（フィンランド共和国）	6	12	5
	トゥルク応用科学大学（フィンランド共和国）	8	10	2
	オウル応用科学大学（フィンランド共和国）	—	—	1
	リールA技術短期大学等（フランス共和国）	4	4	2
	フェリックス・フェッヒェンバッハ・ベルーフスコレーク（ドイツ連邦共和国）	—	10	—
	青雲大学校（大韓民国）	10	—	—
	計	40	39	12

■教職員の海外渡航数（学生引率、国際会議等　延べ人数）

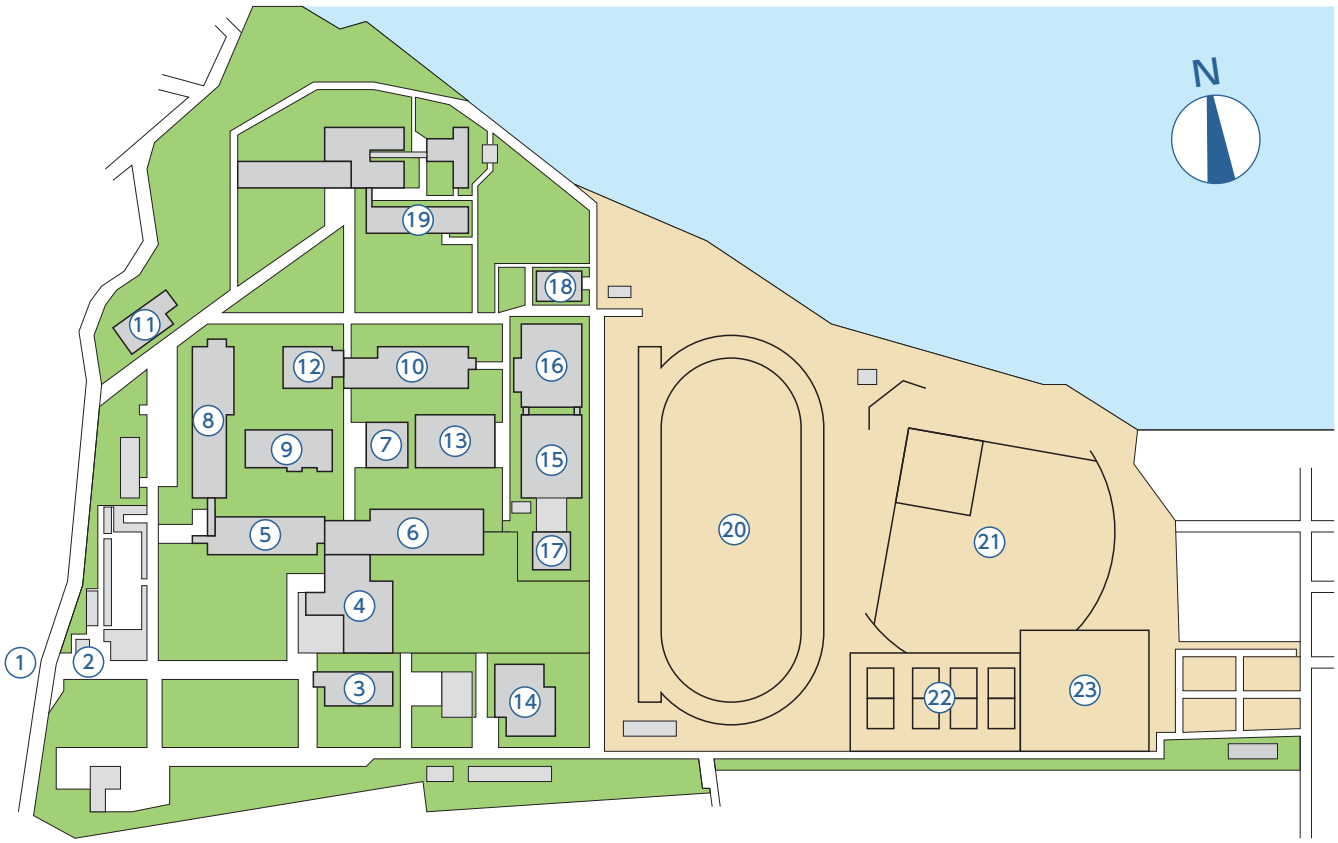
平成24年度	平成25年度	平成26年度	合計
60	65	58	183

名取キャンパスマップ



① 正門
② 守衛室
③ 第１体育館
④ 第２体育館
⑤ 武道館
⑥ プール
⑦ 創造教育センター
⑧ 機械・マテリアル環境棟
⑨ 建築・電気棟
⑩ 電子計算機室（情報基盤センター）
⑪ （旧）情報デザイン棟
⑫ 専門共同教育棟・地域イノベーションセンター
⑬ 専攻科棟
⑭ 総合科学教育棟
⑮ 図書館
⑯ 陸上競技場
⑰ 野球場
⑱ テニスコート
⑲ 弓道場・アーチェリー場
⑳ 合宿研修施設
㉑ 萩工会館
㉒ 萩花寮
㉓ 事務棟

広瀬キャンパスマップ



① 正門
② 守衛室
③ １号棟（管理棟）
④ ２号棟（図書館）
⑤ ３号棟（研究実験棟）
⑥ ４号棟（講義棟）
⑦ ５号棟（電子計算機室）
⑧ ６号棟（旧電子工学科棟・情報工学科棟）
⑨ ７号棟（情報処理設計工作室）
⑩ ８号棟（旧電子制御工学科棟）
⑪ ９号棟（地域イノベーションセンター）
⑫ 10号棟（専攻科研究実験棟）
⑬ 11号棟（創造教育棟）
⑭ 厚生会館
⑮ 第１体育館
⑯ 第２体育館
⑰ 武道館
⑱ 合宿研修所
⑲ 松韻寮
⑳ 陸上競技場
㉑ 野球場
㉒ テニスコート
㉓ ハンドボールコート

アクセスマップ

名取キャンパス（旧宮城工業高等専門学校）

■JR 利用の場合

○JR仙台駅から東北本線・常磐線・阿武隈急行線仙台空港アクセス線に乗車約12分
○JR名取駅下車、バス約10分、徒歩約25分

■名取市バス「なとりん号」利用の場合

○名取駅西口のりばから、県立がんセンター線に乗車約10分、「仙台高専名取キャンパス前」下車

■車 利用の場合

○東北道仙台南ICから約10km約20分
○仙台空港から約10km約15分

■航空機 利用の場合

○仙台空港から名取駅までは、仙台空港アクセス鉄道で、約10分。名取駅からは、徒歩もしくは名取市バス「なとりん号」をご利用ください。

広瀬キャンパス（旧仙台電波工業高等専門学校）

■JR 利用の場合

○JR仙台駅から仙山線に乗車約25分
○JR山形駅から仙山線快速で約55分
○JR愛子駅下車、徒歩約15分

■仙台市営バス 利用の場合

○仙台駅西口バスプール10番のりばから、作並温泉、定義、白沢車庫行き約42分、「仙台高専広瀬キャンパス入口」下車、徒歩５分

■車 利用の場合

○東北道仙台宮城ICから山形方面へ約6.5km約10分
○仙台駅から西道路、R48経由で約12.5km約30分

■航空機 利用の場合

○仙台空港からJR仙台駅までは、仙台空港アクセス鉄道で、約25分（快速17分）。仙台駅からは、JRもしくは仙台市営バスをご利用ください。

中央教育審議会答申「高等専門学校教育の充実について
－ものづくり技術力の継承・発展とイノベーションの創出を目指して－」の概要

平成20年12月24日

１．高等専門学校教育の現状と社会経済環境の変化

○高等専門学校は、中学校卒業後からの５年一環の準学士課程とそれに続く２年間の専攻科での実践的教育により、実践的・創造的な技術者を養成

○卒業生の高い就職率・求人倍率に見られるように、社会から高く評価

○社会経済環境の変化:高等教育のユニバーサル化、技術の高度化、15歳人口の減少、理科への関心の薄れ、進学率の上昇、地域連携強化の必要性の高まり、行財政改革の進展

２．高等専門学校教育の充実の方向性

【基本的考え方】

○それぞれの高等専門学校が自主的・自立的改革に不断に取組み、社会経済環境の変化に積極的に対応

○中堅技術者の養成から、幅広い場で活躍する多様な実践的・創造的技術者の養成へ

○多様な高等教育機関のうちの一つとして本科・専攻科の位置付けを明確に

○産業界や地域社会との連携を強化し、ものづくり技術力の継承・発展を担いイノベーション創出に貢献する技術者等の輩出へ

【具体的方策】

①教育内容・方法等の充実

- 地域の産業界等との幅広い連携の促進、「共同教育」の充実
- 一般教育の充実
- 技術科学大学との連携の強化
- 自学自習による教育効果も考慮した単位計算方法の活用
- 退職技術者を含む企業人材等の活用

②入学者の確保及び多様な学生への支援

③大学への編入学者増加への対応

④教育基盤の強化

- 教員等の確保、FDの実施等、施設・設備の更新・高度化、事務部門強化、財政支援の充実

⑤教育研究組織の充実

- 科学技術の高度化等に対応した学科のあり方の見直し
- 工業・商船以外の新分野への展開
- 地域のニーズを踏まえた専攻科の整備・充実等
- 地域と連携しつつ国立高等専門学校の再編・整備について検討

⑥高等専門学校の新たな展開

- 公立の専門高校や大学校等を基に新たな公立高等専門学校を設置する可能性を含め、潜在的需要を発掘し、需要がある場合には支援方策等について検討

⑦社会との関わりの強化

- 留学生受入れ、教員の海外派遣、海外技術協力など国際的な展開の推進
- 広報活動強化による認知度向上、共同研究の推進、公開講座等の展開

独立行政法人 国立高等専門学校機構
仙台高等専門学校
National Institute of Technology, Sendai College

Mail：soumu@sendai-nct.ac.jp（総務課）
URL：http://www.sendai-nct.ac.jp/

名取キャンパス　住所：〒981-1239 宮城県名取市愛島塩手字野田山 48 番地　TEL：022-381-0253（代）　FAX：022-381-0255（代）
広瀬キャンパス　住所：〒989-3128 仙台市青葉区愛子中央 4 丁目 16 番 1 号　TEL：022-391-5508（代）　FAX：022-391-6144（代）

編集・発行　仙台高等専門学校 総務課　2015年7月発行